

年 報

令和6年度事業概要

44

2025



公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

弥生時代後期の円形周溝墓(礫床木棺墓)
(下里見上ノ原遺跡 高崎市)

下里見上ノ原遺跡は、榛名山南麓を東南流する烏川右岸の河岸段丘上に立地する。標高は約175mである。令和6年度の発掘調査では、弥生時代後期の礫床木棺墓6基のほか、弥生時代から平安時代までの竪穴建物9棟や井戸、土坑、ピットなどが発見された。

礫床木棺墓とは板で長方形の棺を作り、礫をその下に敷いたり周りに積んだりするもので、弥生時代中期後半から後期にかけて、長野県北部から群馬県西部にかけて多く分布する。下里見上ノ原遺跡では、単独のものが2基、2基で一对になるものが2か所で発見された。そのうちの1か所が写真のもので、今回の調査では唯一、礫床木棺(2基)の周囲を溝が円形にめぐる「円形周溝墓」であった。

令和6年度の調査では木棺の小口(短辺)側のみに礫を積む写真右側の2号礫床木棺墓のパターンが多かったが、写真左側の1号礫床木棺墓は床にも礫を敷き、小口側、側板(長辺)側にも礫を積み上げる立派な構造であった。さらに1号礫床木棺墓からは、鉄製や銅製の釧(腕輪)や淡い水色のガラス小玉が出土し、木棺部上層からは坏や壺など多数の土器が完形で出土している。これらのことから、1号礫床木棺墓の被葬者は、他の礫床木棺墓よりも優位な立場であったことが想像される。

令和7年度も隣接地を継続して調査するため、新たな礫床木棺墓や副葬品の発見が期待される。

序

昭和53年7月に創立した当事業団は、群馬県内の埋蔵文化財の発掘調査及び研究を行うとともに、埋蔵文化財保護思想の涵養と普及に関する事業を行うことで、県民文化の振興に寄与してまいりました。

令和6年度は、国土交通省関連で4遺跡、公共事業関連で30遺跡、合計34遺跡の発掘調査を実施いたしました。公共事業関連で調査された下郷古墳群では、木材や礫を敷き詰めて造成した古代の道路跡が見つかりました。周辺に位置する推定吾妻郡家と金井廃寺を結ぶ道路と推定されます。また、下里見上ノ原遺跡で弥生時代の礫床木棺墓、上芝大杉遺跡で古墳時代後期の積石塚が確認されるなど、さまざまな発見がありました。

整理事業は、国土交通省関連で4遺跡、公共事業関連で27遺跡の合計31遺跡を実施し、発掘調査報告書は12冊を刊行いたしました。西上之宮遺跡では古墳の墳丘を利用した中世の墓地を、天竜遺跡と小泉天神西遺跡では古代吾妻郡の役所や寺院に関連すると考えられる特殊な遺物群を報告しています。

普及啓発事業では、発掘情報館3階の遺跡情報室を金井遺跡群情報室「なるほど金井遺跡群」としてリニューアルいたしました。パネルを中心に、金井遺跡群の調査研究成果を細部まで伝える展示となっています。また、コロナ禍で中断していた野焼き体験を5年ぶりに復活させました。

当事業団は、これからも発掘調査、整理事業及び普及啓発事業の実施によって、本県の県民文化の振興と発展に引き続き寄与してまいります。今後とも変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げ、序文といたします。

令和7年7月

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
理 事 長 下 山 正

例 言

1. 本書は、公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団の令和6年度の事業概要をまとめたものである。
2. 付篇は、県及び県内各市町村の協力によって作成された資料に基づいて、当事業団年報紀要委員会が編集した。
3. 本年報編集は、当事業団年報紀要委員会が行った。その構成は以下のとおりである。
委員長：橋本 淳(資料2課上席調査研究員・資料統括)
委 員：山中 豊(資料1課主任調査研究員・資料統括)
齊田智彦(資料2課主任調査研究員・資料統括)
田村 真(調査1課主任調査研究員)
鈴木佑太郎(資料1課専門員(主任))
板垣詩乃(普及課専門員(主任))
事務局：加辺比呂志(調査1課専門調査役)

凡 例

各遺跡の調査概要中に記載する火山噴出物堆積層等の名称と年代は以下のとおりである。

- ・天明泥流：1783(天明3)年の浅間山噴火に伴う泥流
- ・As-A : 1783(天明3)年降下 浅間Aテフラ
- ・As-Kk : 1128(大治3)年降下 浅間粕川テフラ
- ・As-B : 1108(天仁元)年降下 浅間Bテフラ
- ・Hr-FP : 6世紀中葉降下 榛名山二ツ岳伊香保テフラ
- ・Hr-FA : 6世紀初頭降下 榛名山二ツ岳渋川テフラ
- ・As-C : 3世紀末降下 浅間Cテフラ
- ・As-YP : 1.6万年前降下 浅間板鼻黄色テフラ
- ・As-Ok1 : 2万年前降下 浅間大窪沢第1テフラ
- ・As-BPG : 2.7～2.3万年前降下 浅間板鼻褐色テフラ
- ・AT : 3万年前降下 始良丹沢火山灰

目 次

序	
I 事業団の概要	1
1 設立の趣旨	1
2 目的	1
3 沿革	1
4 組織・名簿	2
5 理事会及び評議員会等の開催状況	4
6 令和6年度主要行事	6
7 会計経理の状況	7
II 事業概要	8
1 発掘調査事業概要	8
(1)幹線交通関連埋蔵文化財発掘調査	8
(2)公共開発関連埋蔵文化財発掘調査	8
2 整理事業概要	10
(1)幹線交通関連埋蔵文化財整理事業	10
(2)公共開発関連埋蔵文化財整理事業	10
3 普及事業概要	12
(1)資料と施設の公開	12
(2)指導者の派遣	20
(3)情報誌等の刊行	21
(4)資料の保存	22
III 研究活動概要	22
1 職員自主研究活動指定研究	22
IV 各遺跡の発掘調査概要	23
V 付篇	58
1 令和6年度群馬県内発掘調査一覧	58
2 令和6年度群馬県内整理事業一覧	62
3 令和6年度群馬県内発掘調査報告書一覧	66
4 令和6年度群馬県内発掘調査現地説明会・ 関連行事等一覧	69

I 事業団の概要

1 設立の趣旨

歴史的に東国古代文化の中心であった本県には、著名な古墳を中心に多くの遺跡が存在する。特に、我が国の旧石器文化の研究の端緒になった岩宿遺跡、1万3千基余にも及ぶとされる古墳の濃密な分布など、本県文化の特徴を物語る遺跡の存在は県民にとって大きな誇りであり、これら文化財を共有の財産として保護し、後世に伝えていくことは、我々の責務である。

しかし、一方では、県民生活の安定向上を図るための施策として、各種の開発や交通網の整備などが昭和48年度以降急激に増加した。その結果、開発と文化財保護の調整が大きな課題となり、その対応が急務となった。

こうした背景の下で、文化財保護法の理念に基づき、開発と文化財保護の調和を図るための施策の一環として、昭和53年度に財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が設立された。

その後、平成18年6月「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」の施行を受け、平成24年度から公益財団法人へ移行し、現在に至っている。

2 目的

県内の埋蔵文化財の調査及び研究を行うとともに、埋蔵文化財の保護思想のかん養と普及を図り、もって地域の文化の振興に寄与する。

3 沿革

昭和53年7月15日	法人設立認可(事務局を前橋市に設置、業務開始)
昭和55年4月8日	事務局を勢多郡北橋村に移転
昭和59年4月1日	分室を北橋村に設置
昭和61年4月1日	関越自動車道上越線調査事務所を多野郡吉井町に設置
平成5年3月30日	分室を移転
平成6年3月31日	関越自動車道上越線調査事務所を閉所
平成8年7月1日	発掘情報館開館
平成13年4月1日	東毛調査事務所を伊勢崎市に設置
平成14年4月1日	ハッ場ダム調査事務所を吾妻郡中之条町に設置
平成15年6月1日	ハッ場ダム調査事務所を吾妻郡長野原町に移転
平成17年4月1日	岩神分室を前橋市に設置
平成18年2月20日	市町村合併により住所表示変更(渋川市北橋町下箱田)
平成18年3月31日	東毛調査事務所を閉所
平成19年1月28日	岩神分室を閉所
平成24年3月31日	分室を閉所
平成24年4月1日	公益財団法人設立及び解散登記申請・移行
平成28年12月21日	ハッ場ダム調査事務所を吾妻郡東吾妻町に移転
平成30年7月14日	創立40周年記念式典を挙行
令和3年3月31日	ハッ場ダム調査事務所を閉所
令和3年4月1日	東吾妻分室を吾妻郡東吾妻町に設置
令和7年3月31日	東吾妻分室を閉所

4 組 織・名 簿

令和7年3月31日現在

ア 役員 総数10名(理事8名、監事2名)

役 員 名	氏 名	備 考
理 事 長	向田 忠正	学識経験者
常務理事	山崎 浩通	学識経験者
理 事	山岸 裕美子	群馬医療福祉大学社会福祉学部教授
理 事	金子 昌彦	群馬県商工会議所連合会会長
理 事	鈴木 雅浩	学識経験者
理 事	茂木 和弘	一般財団法人群馬経済研究所常務理事
理 事	神保 侑史	学識経験者
理 事	右島 和夫	群馬県立歴史博物館特別館長
監 事	荒木 伸夫	公認会計士
監 事	秋 池 武	下仁田町歴史館館長

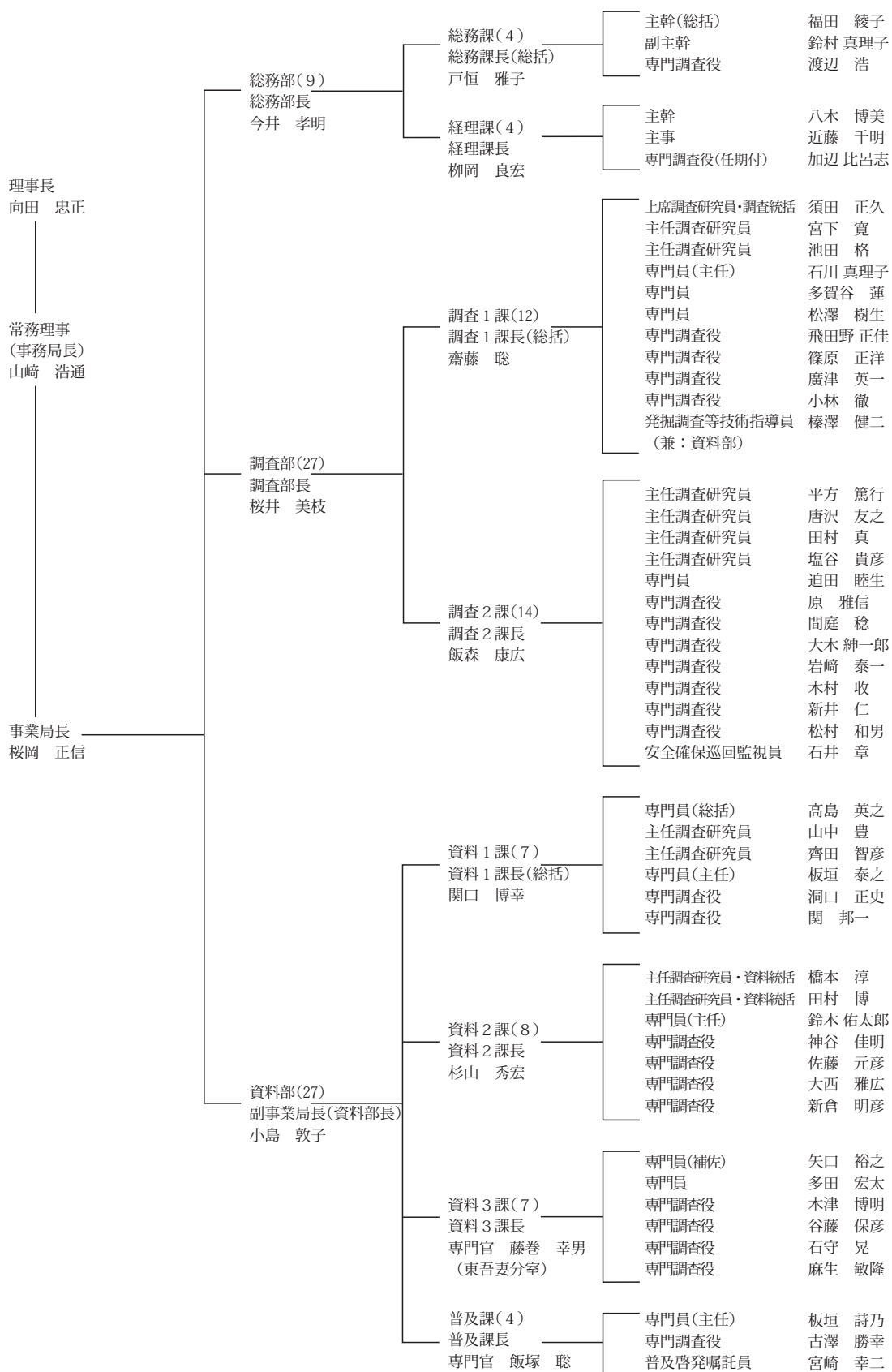
イ 評議員(総数8名)

役 員 名	氏 名	備 考
評 議 員	関戸 明子	群馬大学共同教育学部教授
評 議 員	津金澤 吉茂	元事業団常務理事
評 議 員	大貫 秀美	上毛新聞社編集局生活文化部長
評 議 員	梨子田 友和	群馬テレビ報道局報道部長
評 議 員	野口 華世	共愛学園前橋国際大学教授
評 議 員	鈴木 耕太郎	高崎経済大学准教授
評 議 員	久保田 順一	群馬県文化財保護審議会専門委員
評 議 員	石橋 幸子	群馬県地域創生部文化財保護課長

ウ 特別顧問(総数6名)

役 員 名	氏 名	備 考
特別顧問	佐藤 信	元理事
特別顧問	小野 宇三郎	元理事長
特別顧問	高橋 勇夫	元理事長
特別顧問	須田 榮一	元理事長
特別顧問	井上 唯雄	前評議員
特別顧問	中野 三智男	前理事長

工 事務局 総数66名(派遣職員19名、法人職員44名、嘱託職員 3 名)



5 理事会及び評議員会等の開催状況

会 議 名	開 催 日	現 在 数		議 案
	開 催 場 所	出 席 者		
第155回 定例理事会	令和6年6月6日 発掘情報館研修室	現在数	8	1 令和5年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業報告及び事業報告の附属明細書について
		出席者	7	2 令和5年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表について
		監事出席	2	3 令和5年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団正味財産増減計算書について
				4 令和5年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書について
				5 令和5年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団財産目録について
				6 令和5年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団キャッシュ・フロー計算書について
				7 監査の報告について
				8 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団第72回定時評議員会の招集について
				9 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団役員賠償責任保険について
第72回 定時評議員会	令和6年6月25日 発掘情報館研修室	現在数	8	9 報告事項 (1)専決処分の報告について ア 令和5年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の事業計画変更及び収支予算の補正(補正2号)について
		出席者	6	1 令和5年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表について
				2 令和5年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団正味財産増減計算書について
				3 令和5年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書について
				4 令和5年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団財産目録について
				5 令和5年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団キャッシュ・フロー計算書について
				6 監査の報告について
				7 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団評議員の選任について
				8 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団役員の選任について
				8 報告事項 (1)令和5年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業報告及び事業報告の附属明細書について

会 議 名	開 催 日	現 在 数		議 案
	開 催 場 所	出 席 者		
				(2)専決処分の報告について 令和5年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の事業計画変更及び収支予算の補正(補正2号)について
第156回 理事会	令和6年6月25日	現在数	8	1 提案事項 (1)公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団理事長(代表理事)及び常務理事(業務執行役員)の選定について
	発掘情報館研修室	出席者	8	
		監事出席	2	
第157回 理事会	令和6年10月30日	現在数	8	1 報告事項 (1)常勤理事の職務執行状況について
	発掘情報館研修室	出席者	8	
		監事出席	2	
評議員・理事 監事・特別顧問 合同現地視察	令和6年10月30日	参加者	12	1 保渡田裸薬師遺跡、保渡田押出遺跡の発掘状況(令和6年度西毛広域幹線道路建設工事に伴う埋蔵文化財の発掘調査)
第158回 理事会	令和7年3月10日	現在数	8	1 令和6年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画の変更及び収支予算の補正(補正1号)について 2 令和7年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画について 3 令和7年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支予算について 4 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団組織規程の一部改正について 5 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団就業規程の一部改正について 6 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団職員給与規程の一部改正について 7 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団役員賠償責任保険について 8 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団特別顧問の委嘱について 9 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団第73回評議員会の招集について 10 報告事項 (1)常勤理事の職務執行状況について (2)公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団会計規程の一部改正について (3)公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団公印規程の一部改正について
	発掘情報館研修室	出席者	8	
		監事出席	2	

会 議 名	開 催 日	現 在 数		議 案
	開 催 場 所	出 席 者		
第73回 評議員会	令和7年3月17日	現在数	8	1 令和6年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の事業計画変更及び収支予算の補正(補正1号)について
	発掘情報館研修室	出席者	7	2 令和7年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団事業計画について
				3 令和7年度公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団収支予算について
				4 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団評議員の選任について
				5 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団役員及び評議員並びに特別顧問の報酬等支給基準の一部改正について

6 令和6年度主要行事

- 4月1日 辞令交付式
- 5月31日 監事監査
- 6月2日～12月26日 最新情報展第1期「よみがえる上野武士の中世墓」
- 6月6日 第155回理事会
- 6月23日 最新情報展第1期関連講演会
- 6月25日 第72回評議員会
- 7月1日、7月4日～5日 安全週間現場巡回
- 7月7日 ぐんま遺跡報告会
- 7月22日～8月30日 夏休み宿題教室
- 7月30日～8月1日 埋蔵文化財専門講座(教員コース)
- 9月8日 野焼き・土器づくり体験(～11/17)
- 9月25日～9月27日 埋蔵文化財専門講座(行政担当者コース)
- 10月1日～3日 衛生週間現場巡回
- 10月28日 公開普及デー
- 10月30日 第157回理事会
- 10月30日 「評議員・理事・幹事・特別顧問」現地視察(保渡田裸薬師遺跡等)
- 1月12日 最新情報展第2期「発掘でわかる自然災害—予測できない、でも準備はできる—」
- 1月14日 大人のための冬の古代体験教室(～2/20)
- 3月8日 ぐんま考古学講座「植物考古学の視点」 佐々木由香 金沢大学特任准教授
- 3月9日 現地説明会(保渡田押出遺跡等)
- 3月10日 第158回理事会
- 3月17日 第73回評議員会
- 3月26日 東吾妻分室閉所式
- 3月31日 退職辞令等交付式

7 会計経理の状況

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

ア 決算額

(単位：円)

	当 年 度	前 年 度
経 常 収 益	2,949,574,730	2,664,412,707
経 常 費 用	2,877,810,529	2,602,262,665
経 常 外 収 益	0	0
経 常 外 費 用	2,683,044	17
税引前当期正味財産増減額	69,081,157	62,150,025

Ⅱ 事業概要

1 発掘調査事業概要

(1) 幹線交通関連埋蔵文化財発掘調査

委託者 国土交通省

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺跡の内容	面積㎡	調査期間
一般国道50号(前橋笠懸道路)	1	社南遺跡	伊勢崎市野町	旧石器時代の文化層3枚。上位から細石刃、ナイフ形石器、礫群	685	令6.4.1～令6.12.31
	2	御伊勢坂遺跡	伊勢崎市赤堀今井町	縄文時代の土坑、古代の竪穴建物・掘立柱建物	4,113.55	
	3	今井北原遺跡	伊勢崎市赤堀今井町	古代の竪穴建物・溝・土坑	1,907.86	
		今井西原遺跡	伊勢崎市赤堀今井町	(遺構無し)	237.22	
	4	多田山東遺跡	伊勢崎市赤堀今井町	古墳時代～古代の竪穴建物・掘立柱建物・溝・土坑	5,390.52	

(2) 公共開発関連埋蔵文化財発掘調査

委託者 群馬県県土整備部

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺跡の内容	面積㎡	調査期間
(一)苗ヶ島飯土井線	5	前橋市0327遺跡	前橋市飯土井町	古墳時代前期の竪穴建物・溝・土坑	1,238.60	令6.12.1～令6.12.31
高崎神流秩父線(矢田工区)	6	池藤ノ木遺跡	高崎市吉井町池	縄文時代の土坑、平安時代の竪穴建物、鍛冶炉	2,403.40	令6.7.1～令7.3.31
	7	池宮ノ前遺跡	高崎市吉井町池	平安時代の水田、江戸時代の復旧坑	3,634.80	
国道354号(羅漢地区)	8	羅漢町遺跡	高崎市羅漢町	近世の溝・土坑	94.90	令6.6.1～令6.6.30
(主)高崎安中富岡線(西毛広域幹線道路高崎工区)	9	三ツ寺鍛冶街道遺跡	高崎市三ツ寺町	古墳時代～平安時代の竪穴建物・掘立柱建物	3642.76	令6.4.1～令7.3.31
	10	保渡田押出遺跡	高崎市保渡田町	古墳時代～平安時代の竪穴建物・掘立柱建物・道路状遺構・鍛冶跡。断層、地割れ、噴砂の痕跡確認。	5,125.11	
		保渡田裸薬師遺跡	高崎市保渡田町			
	11	上芝大杉遺跡	高崎市箕郷町上芝	弥生時代の竪穴建物、古墳時代の積石塚古墳	522.74	令6.12.1～令7.3.31
	12	下芝谷ツ遺跡	高崎市箕郷町下芝	Hr-FA下水田、As-B下水田	1,670.94	
(一)下里見安中線(西毛広域幹線道路高崎安中工区)	13	下里見中原遺跡	高崎市下里見町	弥生時代・古墳～平安時代の竪穴建物、中・近世の掘立柱建物	3,380.42	令6.4.1～令7.3.31
	14	下里見上ノ原遺跡	高崎市下里見町	弥生時代の竪穴建物・礫床木棺墓、古墳～平安時代の竪穴建物	1,539.16	
	15	下里見大通遺跡	高崎市下里見町	平安時代の道路跡	851.67	
(都)3・6・10号南北中央幹線(他1路線)	16	本宿遺跡	安中市安中	奈良・平安時代の土坑・溝。	712.31	令6.4.1～令6.5.31
		町北遺跡	安中市安中	溝のうち並行して走る2条は、東山道駅路の側溝の可能性高い。中・近世の畑、As-A軽石を廃棄した復旧坑		
		地尻遺跡	安中市安中			
		上野尻遺跡	安中市安中			

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺跡の内容	面積㎡	調査期間
(一)安中富岡線(西毛 広域幹線道路安中富 岡工区)	17	霜田遺跡	安中市上間仁田	縄文時代の掘立柱建物・土坑、 古代の竪穴建物	235.53	令6.6.1～令7.3.31
	18	道前久保遺跡	安中市上間仁田	縄文時代の竪穴建物・土坑、 古墳時代の竪穴建物	1,637.47	
	19	蔵畑Ⅲ遺跡	安中市安中	古代の溝、As-Aの復旧坑	1,183.46	
	20	長竜遺跡	安中市安中	古代の竪穴状遺構・石垣、中 世の掘立柱建物・土坑・溝・ 井戸	1,029.64	
	21	一本木遺跡	安中市安中	古墳時代の竪穴建物・土坑、 古代の水田・集石、中近世の 溝	7,902.64	
大規模特定河川(一) 利根川	22	西上之宮遺跡	伊勢崎市西上之宮町	Hr-FA下水田、As-B下水田、中 世の竪穴建物・掘立柱建物、 天明泥流水田・畑	36,060.17	令6.4.1～令7.3.31
	23	東上之宮遺跡	伊勢崎市東上之宮町	縄文・弥生時代の竪穴建物、 古墳時代の竪穴建物・円墳 ・Hr-FA下水田、平安時代の竪 穴建物・掘立柱建物・水田、 中世の掘立柱建物・水田・石 積み遺構、江戸時代の水田・ 畑・土手		
	24	上福島関根遺跡	佐波郡玉村町上福島	古墳時代の竪穴建物・周溝墓、 古代の竪穴建物・掘立柱建物、 As-A下水田・畑	9,770.98	令6.9.1～令7.1.31
(都)3・4・11号中 央通り線	25	館林城跡・城下町	館林市本町一丁目	近世の土坑・溝・集石・炉	488.86	令6.4.1～令6.6.30
上信自動車道吾妻東 バイパス	26	下郷古墳群	吾妻郡東吾妻町川戸	弥生時代の掘立柱建物、古墳 時代の竪穴建物、古代の道路 状遺構・水田	5,807.55	令6.4.1～令6.12.31
	27	水頭B遺跡	吾妻郡東吾妻町金井	古墳時代の竪穴建物、古代の 掘立柱建物・道路と推定され る落ち込み	4,654.98	令6.6.1～令6.9.31
	28	金井水頭山遺跡	吾妻郡東吾妻町金井	古墳～平安時代の竪穴建物(う ち1棟は鍛冶炉持つ)、中世の 掘立柱建物	2,292.46	令6.10.1～令8.1.31
	29	玉科遺跡	吾妻郡東吾妻町川戸	縄文時代の竪穴建物、古墳、 古代の竪穴建物、中近世の掘 立柱建物	2,676.45	令6.11.1～令6.11.30、 令7.1.1～令7.3.31
	30	奥田鎌原遺跡	吾妻郡東吾妻町奥田	古墳時代の土坑、中近世の溝	328.65	令6.4.1～令6.5.31
		道上B遺跡		縄文時代の竪穴建物・掘立柱 建物・土坑、中近世の竪穴建 物・掘立柱建物	1,737.05	
		道上C遺跡		縄文時代の土坑、中近世の土 坑・溝		
	31	金原城跡	吾妻郡東吾妻町五町 田	縄文時代の敷石住居・列石・ 配石遺構・土坑、古墳時代の 土坑	535.37	令6.10.1～令6.10.31
	32	柳沢B遺跡	吾妻郡東吾妻町新巻	縄文時代の竪穴建物・列石・ 配石・埋設土器、古墳時代の 竪穴建物・石槨	3,559.64	令6.7.1～令6.11.30
	33	柳沢遺跡	吾妻郡東吾妻町新巻	縄文・弥生時代の竪穴建物、 古墳時代の竪穴建物・掘立柱 建物・円形状遺構、古代の竪 穴建物・掘立柱建物・水田・ 畑	11,994.76	令6.4.1～令6.10.31

委託者 群馬県環境森林部

事業名称	番号	遺跡名	所在地	遺跡の内容	面積㎡	調査期間
予防治山事業(甘楽郡下仁田町大字下小坂(反替戸)地内)	34	中小坂鉄山・製鉄所跡	甘楽郡下仁田町下小坂	近代のトロッコ道・石垣・石組み・集石	1,312.20	令6.11.1～令6.12.31

2 整理事業概要

(1) 幹線交通関連埋蔵文化財整理

委託者 国土交通省

事業名称	番号	遺跡名	所在地	報告書名	発行日	整理期間
一般国道50号(前橋笠懸道路)	1	柳田遺跡	伊勢崎市赤堀今井町	第749集『柳田遺跡』	令7.3.24	令6.4.1～令6.10.31
	2	社南遺跡	伊勢崎市野町			令6.11.1～令7.3.31
	3	中堀西遺跡	伊勢崎市野町			令6.10.1～令7.3.31
	4	今井北原遺跡	伊勢崎市赤堀今井町	第747集『今井北原遺跡・中堀東遺跡』	令7.3.18	令6.4.1～令6.9.30

(2) 公共開発関連埋蔵文化財整理

委託者 群馬県県土整備部

事業名称	番号	遺跡名	所在地	報告書名	発行日	整理期間
南新井前橋線	5	堀之内北遺跡	北群馬郡榛東村新井	第745集『堀之内北遺跡』	令6.10.25	令6.6.1～令6.8.31
利根川河川改修(伊勢崎・玉村工区)	6	西上之宮遺跡	伊勢崎市西上之宮町	第743集『西上之宮遺跡(1)』	令7.3.14	令6.4.1～令7.3.31
	7	東上之宮遺跡	伊勢崎市東上之宮町			令6.4.1～令7.3.31
	8	樋越薬師遺跡	佐波郡玉村町樋越			令6.4.1～令7.3.31
西毛広域幹線道路(高崎工区)	9	保渡田押出遺跡	高崎市保渡田町			令6.4.1～令7.3.31
	10	保渡田裸薬師遺跡	高崎市保渡田町			令6.4.1～令7.3.31
	11	三ツ寺鍛冶街道遺跡	高崎市三ツ寺町			令6.4.1～令7.3.31
小平塩原線(滝ノ上工区)	12	下谷戸B遺跡	みどり市大間々町塩原			令6.4.1～令7.3.31
八瀬川堤防嵩上げ事業	13	浜町遺跡・浜町古墳群	太田市浜町・本町	第750集『浜町古墳群(2)・浜町遺跡(3)』	令6.12.23	令6.4.1～令6.10.31
山王赤生田線	14	陣谷遺跡	館林市楠町			令6.4.1～令7.3.31
安中富岡線	15	下黒岩原遺跡	富岡市下黒岩	第752集『下黒岩原遺跡』	令7.2.20	令6.9.1～令6.12.31
昭和インター線(森下工区)	16	森下宮原遺跡	利根郡昭和村森下			令6.4.1～令7.3.31
上信自動車道吾妻東バイパス	17	厚田橋詰遺跡	吾妻郡東吾妻町厚田	第742集『厚田橋詰遺跡』	令6.8.22	
	18	小田沢遺跡	吾妻郡東吾妻町植栗			令6.4.1～令7.3.31
	19	下泉A遺跡	吾妻郡東吾妻町植栗			令6.4.1～令7.3.31
	20	下泉B遺跡	吾妻郡東吾妻町植栗			令6.4.1～令7.3.31
	21	深沢遺跡	吾妻郡東吾妻町川戸			令6.4.1～令7.3.31
	22	天竜遺跡	吾妻郡東吾妻町川戸	第753集『天竜遺跡』	令7.3.18	令6.4.1～令7.3.31
	23	岩井山根B遺跡	吾妻郡東吾妻町岩井			令6.10.1～令7.3.31

事業名称	番号	遺跡名	所在地	報告書名	発行日	整理期間
上信自動車道吾妻東バイパス2期	24	池ノ沢遺跡	吾妻郡東吾妻町小泉	第746集『池ノ沢遺跡』	令6.10.25	令6.4.1～令6.8.31
	25	小泉天神西遺跡	吾妻郡東吾妻町小泉	第751集『小泉天神西遺跡』	令7.3.14	令6.4.1～令6.11.30
	26	月夜野A遺跡	吾妻郡東吾妻町新巻			令6.12.1～令7.3.31
	27	沢ノ上B遺跡	吾妻郡東吾妻町植栗			令6.11.1～令7.3.31
	28	箱島下寄居遺跡	吾妻郡東吾妻町箱島			令7.1.1～令7.3.31
下沢渡原町線	29	八幡原遺跡	吾妻郡東吾妻町原町	第748集『八幡原遺跡』	令6.11.22	令6.4.1～令6.9.30
新巻市城線	30	柳沢遺跡	吾妻郡東吾妻町新巻			令6.9.1～令7.3.31

委託者 群馬県警本部

事業名称	番号	遺跡名	所在地	報告書名	発行日	整理期間
倉賀野交番	31	倉賀野下樋越遺跡	高崎市倉賀野町	第744集『倉賀野下樋越遺跡』	令6.8.14	令6.4.1～令6.5.31

3 普及事業概要

(1) 資料と施設の公開

A 資料の利用と貸出

当事業団では、群馬県埋蔵文化財調査センターが所蔵する考古資料の貸出や利用に係る管理事務を群馬県地域創生部文化財保護課より受託している。資料の貸出は、各種の学校教育への利用や博物館等の公的機関による展示公開を目的とした資料借用申請を受けて行われる。また、資料の利用とは、学術研究目的の考古資料の実見、観察、写真撮影、実測等を当センター内において行うことをいう。

令和6年度の実績は以下の表のとおりである。

ア 資料の利用と貸出し数

内 訳	貸 出			利 用		
	件 数	写真等	遺 物	件 数	写真等	遺 物
1 博物館・資料館等	36	103	1,538	10	6	488
2 学 校	6	6	148			
3 地域社会	3	4	10			
4 公的編纂事業	4	11				
5 埋蔵文化財行政	9	82	197	9		409
6 委託者						
7 民間事業所						
8 研究者	4		258	26		996
9 報道関係	4	8		1		20
10 出版社	16	92		1		30
11 行 政	3	15				
小 計	85	321	2,151	47	6	1,943
合 計	貸出・利用＝132件/ 写真等 327点/ 遺物4,094点					

イ 資料の主な貸出先

貸 出 先	期 間	企 画 等	主な貸出資料
群馬県立高崎北高等学校	令和6.4.14 ～ 令和6.4.28	授業で使用	学校貸出資料
株式会社雄山閣	令和6.6.20 ～ 令和6.7.25	『天明三年浅間山大噴火を語り継ぐ』に掲載するため(2024年7月25日発行予定)	上福島中町遺跡写真データ
大田区立郷土博物館	令和6.9.11 ～ 令和6.12.27	令和6年度特別展「矢を放て！―関東の弓矢、一万年―」に展示、広報等に使用	奥原古墳群他出土資料
高崎市中央公民館	令和6.9.26 ～ 令和6.11.25	公民館主催事業「歩いて再発見」(講師：横倉興一)と「たかさき再発見」講義資料として	下芝五反田・三ツ寺遺跡写真データ
市川市	令和6.9.26 ～ 令和7.3.31	『市川市史歴史編Ⅱ-ムラとマチ(通巻2)』(令和7年3月7日発行予定)第1章最古の狩人とその暮らしに掲載	上白井西伊熊・白井北中道遺跡写真データ
行田市郷土博物館	令和6.10.1 ～ 令和6.12.13	第37回企画展「布をまとう―古代人の衣―」展示に使用	三室間ノ谷遺跡他出土資料と複製品
株式会社NHKエンタープライズ	令和6.12.27 ～ 令和7.2.27	「英雄たちの選択 シリーズ古墳時代① 黄金の馬を育てよ ～地方豪族・上毛野氏から見たヤマト王権～(仮)」(2025年2月27日BS4K放送予定)にて使用	金井下新田・三ツ寺・白井北中道遺跡写真データ

貸 出 先	期 間	企 画 等	主な貸出資料
群馬県地域創生部文化振興課	令和7.1.6 ～ 令和7.3.31	榛名山噴火関連遺跡シンポジウム 動画で使用	金井東裏・白井北中道・吹屋 中原・金井下新田遺跡写真 データ
観音塚考古資料館	令和7.3.19 ～ 令和7.11.18	令和7年度ミニ企画展「高崎市の 古墳Ⅰ～近年の調査成果を中心に ～」に展示するため	下里見天神前遺跡出土資料

B 施設の利用

ア 施設の見学など

令和6年度における発掘情報館の見学や研修等の来館者総数は6,554人を数え、うち日曜開館時の来場者は1,892人であった。開館日数は286日であった。

月別の来場目的別来場者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
見 学	206	261	237	694	1,521	508	403	421	249	199	288	340	5,327
資料調査等	3	0	19	10	14	3	37	14	1	5	9	5	120
行政視察	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
研 修	0	2	31	71	12	38	0	0	0	0	0	114	268
学校・教委	19	18	62	22	25	16	9	34	21	34	18	21	299
図 書	35	35	51	48	48	51	55	55	41	39	44	36	538
計	265	316	400	845	1,620	616	504	524	312	277	359	516	6,554

イ 図書室の利用

図書の利用状況は、貸出数3,025冊、利用者数794人であった。新規図書受入数は2,101冊であり、蔵書総数は135,985冊となった。月・金・日曜日を一般利用者に開放している。

貸出状況

内 部 貸 出	328件	1027点
外 部 貸 出	248件	1092点
貸 出 総 数	794件	3,025点

図書登録状況

新規登録数	2,101点	
登 録 内 訳	移 管	274点
	寄 贈	1,602点
	購 入	225点
収 蔵 量	135,985点	

図書室収蔵量の推移

事業年度	累計点数	増減分
令和元年度末	127,006点	2,450点
令和2年度末	129,427点	2,421点
令和3年度末	131,761点	2,334点
令和4年度末	139,932点	2,171点
令和5年度末	135,942点	2,010点
令和6年度末	135,985点	2,101点

*令和6年度…除籍2,058冊

新規収蔵資料の概要

埋蔵文化財発掘調査報告書	63.11%
市町村誌など	0.29%
一般文化財・民俗関係	0.62%
埋蔵文化財・考古学に関連する雑誌類および各機関の紀要・年報・ニュースレターなど	31.41%
埋蔵文化財・考古学および歴史などに関連する単行本・全集・展示図録など	4.19%
辞典・図鑑・地図など	0.38%

C 行事

ア 最新情報展

期 間	令和6年2月18日(日)～令和7年5月18日(日) 令和5年度第2期、令和6年度第1期・第2期
主 催	群馬県地域創生部
実施機関	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館資料展示室
展 示	(令和5年度)第2期 「東吾妻の弥生～古墳時代の集落と墓～」 期 間：令和6年2月18日(日)～5月19日(日) (参加者1,058人)
	(令和6年度)第1期 「よみがえる上野武士の中世墓―伊勢崎市西上之宮遺跡の中世石塔―」 期 間：令和6年6月2日(日)～12月26日(木) (参加者4,821人) 関連講座：令和6年6月23日(日) (参加者31人) 「よみがえる上野武士の中世墓―伊勢崎市西上之宮遺跡の中世石塔―」講師：新倉明彦
	第2期 「発掘でわかる自然災害～予測は難しい。でも準備はできる～」 期 間：令和7年1月12日(日)～令和7年5月18日(日) (参加者1,733人) ギャラリートーク：令和7年3月23日(日) (参加者26人)担当：原雅信・小島敦子・板垣詩乃



令和6年度最新情報展ポスター



講演会・ギャラリートークの様子

イ 埋蔵文化財専門講座

期 間	①教員コース	令和6年7月30日(火)～8月1日(木)
	②埋蔵文化財行政担当者コース	令和6年9月25日(水)～27日(金)
主 催	群馬県地域創生部	
実施機関	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団	
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館研修室	
対 象	①県内公立学校に勤務する教員 ②市町村教育委員会の文化財関係職員	
内 容	① 埋蔵文化財の調査成果を年間の学習指導計画の中に取り入れて生徒の学びを豊かにし、将来の地域を支える市民として生徒の基礎教養を育むとともに、教員においては地域の身近な教材として活用する視点の育成と地域の歴史文化への基礎知識の涵養を図る。 ②県が実施している埋蔵文化財調査の知識や技術、普及活動等を紹介し研修してもらい、市町村の埋蔵文化財と発掘調査・整理、普及活用など、地域の学校教育と生涯学習の資質向上に資する。	
① 教員コース (参加者 16名)	7月30日(火) 参加者12名	開講式 石田 真(県地域創生部文化財保護課)・桜岡正信 講義1：埋蔵文化財の基礎講座 小島敦子 講義2：文化財学習とその意義 飯塚 聡 講義3：授業で使える発掘情報館！ 板垣詩乃 講義4：発掘情報館の体験学習 古澤勝幸・宮崎幸二
	7月31日(水) 参加者16名	講義5：授業で使える文化財Ⅰ「群馬の歴史と文化財」古墳時代 杉山秀宏・池田 格 講義6：授業で使える文化財Ⅱ「群馬の歴史と文化財」飛鳥・奈良・平安時代 飯塚 聡 講義7：授業で使える文化財Ⅲ 埋蔵文化財を活用した教育実践例 山本直哉教諭(高崎市立吉井中央中学校) 武井 学教諭(高崎市立塚沢中学校)
	8月1日(木) 参加者12名	発掘体験実習：飯塚 聡 池藤ノ木遺跡(高崎市吉井町池地内)
② 埋蔵文化財 行政担当者 コース (参加者 25名)	9月25日(水) 参加者15名	開講式 石田 真(県地域創生部文化財保護課)・桜岡正信 講義1：埋蔵文化財保護行政の動勢とその取扱い 石田 真・萩原清香(県地域創生部文化財保護課) 講義2：補助金事務の取扱い 今城未知(県地域創生部文化財保護課) 講義3：埋文事業団の資料の保存管理及び普及活動の取組について 板垣詩乃・古澤勝幸 講義4：出土遺物の3Dアーカイブ化事業について 萩原清香(県地域創生部文化財保護課) 講義5：整理作業における3D実測の活用について 小島敦子
	9月26日(木) 参加者12名	講義6：縄文土器の基礎知識と資料の取扱い 橋本 淳 講義7：中近世土器・陶磁器の基礎知識と資料の取扱い 大西雅広 講義8：脆弱遺物の取扱いと埋文事業団の保存処理業務 板垣泰之
	9月27日(金) 参加者11名	講義9：報告書作成に関するデジタル編集の基礎知識 —インデザインによる編集— 齊田智彦 特 講：文化財活用地域計画の策定及び文化財防災の取組について 川口 亮・小嶋 圭(県地域創生部文化財保護課)



①教員コース



②埋蔵文化財行政担当者コース

ウ 夏休み宿題教室

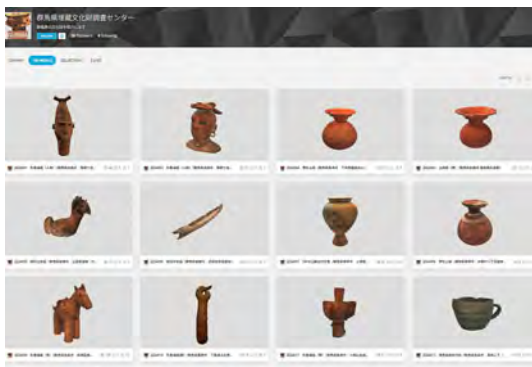
期 間	令和6年7月22日(月)～8月30日(金)
主 催	群馬県地域創生部
実施機関	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館体験学習室
対 象	県内小中学生とその保護者
内 容	古代体験「勾玉づくり」「埴輪・土器づくり」
参 加 者	1,329人



夏休み宿題教室の様子

エ 3D計測アーカイブ業務

日 時	令和6年5月1日(水)～令和7年2月28日(金)
主 催	群馬県地域創生部
実施機関	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
対 象	40点(古墳～古代の出土遺物)
内 容	群馬県所蔵の出土遺物の3Dアーカイブ化を行い、埋蔵文化財に対するより具体的な理解を図り普及活動に寄与する。



Sketchfabに公開された3Dモデル



撮影の様子

オ めんま遺跡報告会

日 時	令和6年7月7日(日)		
主 催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団		
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館		
内 容	開会挨拶	理事長	向田忠正
	発表1 柳沢遺跡(東吾妻町)		須田正久
	発表2 森下宮原遺跡(昭和町)		多田宏太
	発表3 多田山東遺跡(伊勢崎市)		山中 豊
	発表4 南蛇井北原田遺跡・蚊沼大神分遺跡(富岡市)		石守 晃
	閉会挨拶	事業局長	桜岡正信
参 加 者	41人		



発表1の様子



発表4の様子

カ 公開普及デー

期 間	令和6年10月28日(月)		
主 催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団		
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館・本館・調査研究館・収蔵庫		
内 容	勾玉づくり、拓本体験、発掘体験、缶バッヂ作成、3Dデジタル画像公開、顔出しパネル、バックヤードツアー(予約制)を実施		
参加者	100人		



らくらく勾玉づくり・拓本体験



発掘体験 なにが見つかったかな？

キ 縄文土器・土偶をつくる・焼く

期 間	令和6年9月8日(日)～11月17日(日)
主 催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館・中庭
内 容	縄文時代・縄文土器に関する学習、土器づくりと野焼きを予約制で実施
参加者	21人



火の神様に願いを込めて…



土器と一緒に記念写真

ク 大人のための冬の古代体験教室

期 間	令和6年1月14日(火)～2月20日(木)
主 催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館体験学習室
内 容	アンギン編み・ミニチュアレプリカ作り・銅鏡レプリカ作り・トンボ玉作りを予約制で実施
参加者	32人



アンギン編み



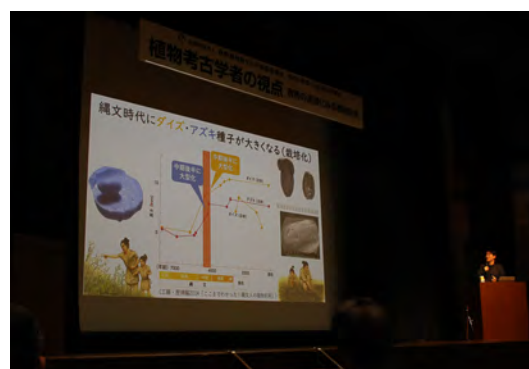
銅鏡レプリカ作り

ケ ぐんま考古学講座

期 間	令和7年3月8日(土)
主 催	公益財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
会 場	群馬会館ホール
講 師	金沢大学古代文明・文化資源学研究所 考古科学部門特任准教授 佐々木由香先生
演 題	「植物考古学者の視点―群馬の遺跡にみる植物利用―」
参 加 者	108人



チラシ



佐々木由香先生による御講演の様子

コ 発掘調査現地説明会

遺 跡 名	期 間	場 所	来場者	内 容
保渡田押出遺跡	令和7年3月9日(日)	高崎市保渡田町	97人	三ツ寺・保渡田地区に向けて開催

サ 遺跡情報室リニューアルオープン

発掘情報館3階の遺跡情報室を、金井遺跡群情報室「なるほど金井遺跡群」としてリニューアルした。



金井遺跡群の「なるほど」をお伝えします



パネルやレプリカ、冊子等情報がぎっしり

(2) 指導者の派遣

ア 学校への体験学習講師派遣

実施日	学 校	内 容	学 年	教 科 等	人 数
6月11日	前橋市立粕川小	火起こし	6年生	体験学習(児童64・教員2人)	66人
6月13日	伊勢崎市立名和小	土器づくり	6年生	体験学習(児童78・教員3人)	81人
6月21日	前橋市立月田小	勾玉づくり	6年生	体験学習(児童15・保護者15・教員2人)	32人
7月10日	伊勢崎市立坂東小	勾玉づくり	6年生	体験学習(児童77・教員2人)	79人
7月19日	共愛学園小学校	土器づくり	6年生	体験学習(児童61・教員2人)	63人
12月17日	前橋市立粕川小	土器づくり	6年生	体験学習(児童64・教員2人)	66人
3月27日	桂萱東児童クラブ	勾玉づくり	小学生	体験学習(児童60・教員5人)	65人



前橋市立粕川小学校での火起こしの様子



前橋市立月田小学校での勾玉づくりの様子

イ まいぶん出前講座

実施日	依 頼 者	演題・内容	派 遣 職 員	人 数
4月21日	ぐんまみどりのインタープリター協会	榛名山噴火遺跡から分かる被災状況と復興	資料2課長 杉山秀宏	70人
5月18日	渋川市郷土史研究会	金井遺跡群の奇跡～金井下新田遺跡を中心に～	主任調査研究員 山中 豊	20人
10月8日	総社歴史勉強会	平安時代の上野国	普及課長 飯塚 聡	35人
11月23日	高崎市久留馬公民館	久留馬の歴史と産業・文化	調査1課長 齋藤 聡	70人

(3) 情報誌などの刊行

A 『年報』43 令和5年事業概要 令和6年9月30日発行(当事業団ホームページに掲載)

号	頁	内 容
43	1	I 事業団の概要 1 設立の趣旨 2 目的 3 沿革 4 組織・名簿 5 理事会及び評議員会等の開催状況 6 令和5年度主要行事 7 会計経理の状況
	7	II 事業概要 1 発掘調査事業概要 2 整理事業概要 3 普及事業概要
	19	III 研究活動概要 1 職員自主研究活動指定研究
	20	IV 各遺跡の調査概要
	51	V 付篇 1 令和5年度群馬県内発掘調査一覧 2 令和5年度群馬県内整理事業一覧 3 令和5年度群馬県内発掘調査報告書一覧(事業団分含む) 4 令和5年度群馬県内発掘調査現地説明会・関連行事等一覧

B 『研究紀要』43 令和7年3月13日発行

号	頁	論 文 名	執 筆 者
43	1	土器製作技法の研究―縄文から古墳時代までの技術論的研究史―	多賀谷蓮
	13	群馬県東吾妻町万木沢B遺跡における大型溝の研究―黒曜石製石器群からみた溝内遺物包含層の形成過程―	関口博幸
	23	石川原遺跡配石墓群構築のあとさき	藤巻幸男
	43	石川原遺跡の水場利用について―一周辺遺跡との比較から―	鈴木佑太郎
	59	群馬県安中市松井田町千駄木遺跡出土の縄文土器―埋蔵文化財発掘調査報告書補遺―	橋本 淳・桜岡正信
	65	群馬県明和町採集の土偶と人面付き土器	谷藤保彦
	77	群馬県明和町採集の木菟型中空土偶について	鈴木佑太郎
	85	金井東裏遺跡出土鹿角製小札について―鹿角製小札の保存処理と復元制作から得られた知見と課題―	関 邦一・板垣泰之
	103	群馬県内出土耳環の研究手法	板垣泰之
	109	秋間古窯跡の研究―東上秋間遺跡群の表採資料から―	神谷佳明
	131	太田金山城の構造と伝承地の検討	飯森康広
	149	八ッ場における下駄について―江戸時代天明泥流下の集落から出土した下駄の検討―	藤巻幸男・中沢 悟
	169	「おみくじ」の版木	佐藤元彦

C 『なるほど金井遺跡群』発掘情報館3階遺跡情報室 パンフレット 令和7年2月28日発行

頁	内 容
1	「なるほど金井遺跡群へようこそ」／金井遺跡群の共同研究
2	金井遺跡群の位置／榛名山の噴火と金井遺跡群
4	金井遺跡群で被災した人々
6	金井遺跡群の馬生産
7	金井下新田遺跡の首長居館
10	古墳時代の首長の姿
12	古墳時代の技術
15	金井遺跡群が語りかけること

D ホームページの運営

当事業団ホームページでは、行事案内や発掘調査の最新情報などを掲載して情報発信に努めた。

(4) 資料の保存

保存処理室の業務

対 象	作 業 項 目	対 象 遺 跡	数 量
木製品関係	木器関係の保存処理	5 遺跡	475点
	木器関係のプレパレート作成	—	—
	木器関係の実測	1 遺跡	2 点
	木材樹種同定	—	—
金属製品	金属器の錆落とし	17遺跡	438点
	X線写真撮影	25遺跡	756点
	赤外線写真撮影	1 遺跡	1 点
土層	土層剥取	1 遺跡	3 点
現場対応	遺物の取り上げ	1 遺跡	1 点
遺物修復	金属・木・竹製品修復	18遺跡	101点
	特殊脆弱遺物精査・クリーニング・強化処理	9 遺跡	12点
市町村対応	X線写真撮影	1 遺跡	1 点
	土層剥取	1 遺跡	1 点
	赤外線写真撮影	1 遺跡	2 点
	助言・指導	2 遺跡	2 点

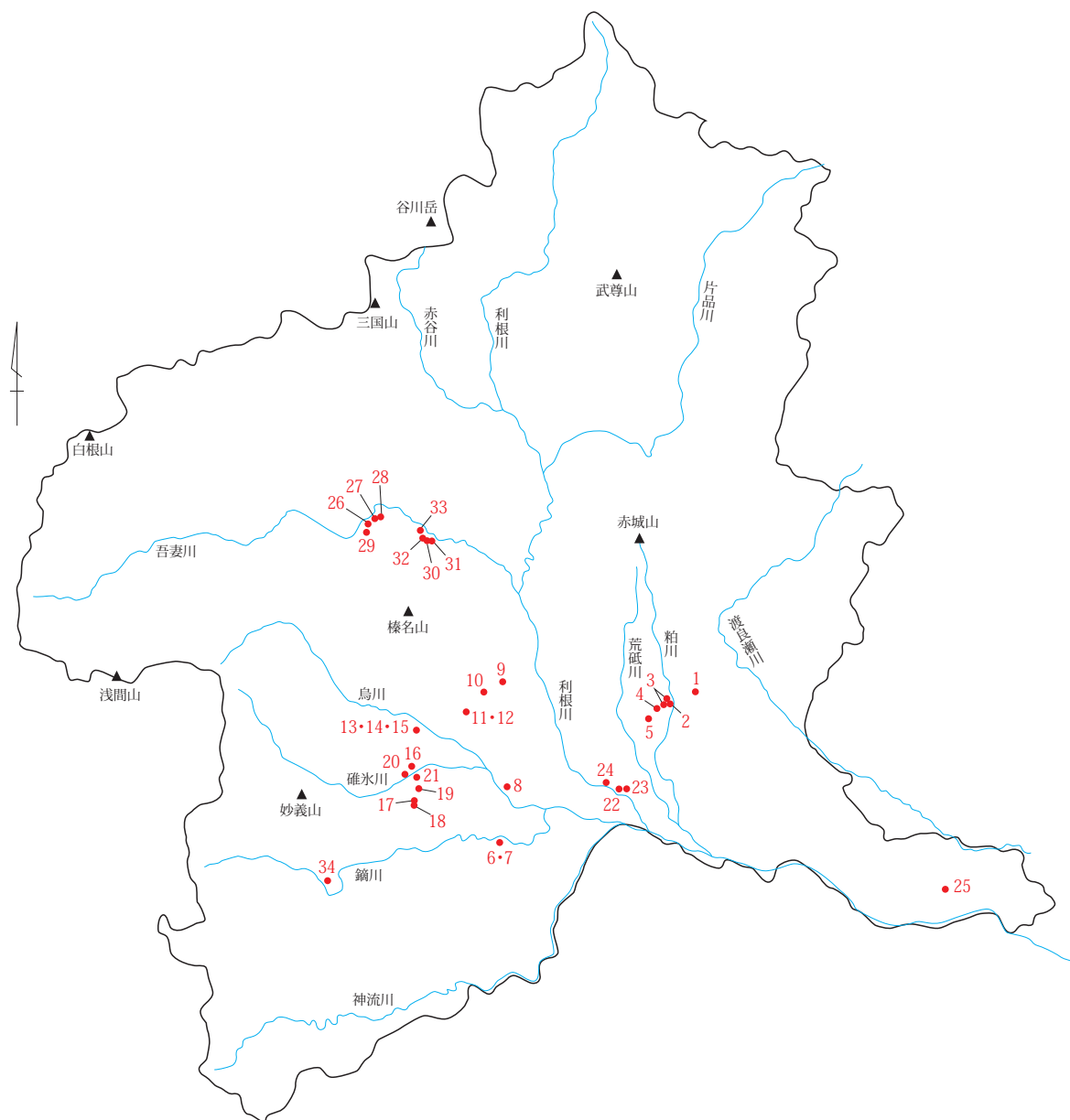
Ⅲ 研究活動概要

1 令和6年度職員自主研究活動指定研究

令和6年度の職員自主研究活動事業の指定は次のとおりである。

No.	氏 名	研 究 課 題
1	飯森康広	拠点城郭の構造研究
2	多賀谷蓮	縄文草創期から早期における土器の製作技法の研究
3	鈴木佑太郎	群馬県域における佐野式土器の変遷と他型式との交流
4	飯塚 聡	古代東国における浄土信仰の展開

IV 各遺跡の発掘調査概要



令和6年度 調査遺跡位置図

- | | | |
|-------------------------|--------------|---------------------------|
| 1 社南遺跡 | 12 下芝谷ツ遺跡 | 24 上福島関根遺跡 |
| 2 御伊勢坂遺跡 | 13 下里見中原遺跡 | 25 館林城跡・城下町 |
| 3 今井北原遺跡・
今井西原遺跡 | 14 下里見上ノ原遺跡 | 26 下郷古墳群 |
| 4 多田山東遺跡 | 15 下里見大通遺跡 | 27 水頭B遺跡 |
| 5 前橋市0327遺跡 | 16 本宿遺跡・町北遺跡 | 28 金井水頭山遺跡 |
| 6 池藤ノ木遺跡 | 17 霜田遺跡 | 29 玉科遺跡 |
| 7 池宮ノ前遺跡 | 18 道前久保遺跡 | 30 奥田鎌原遺跡・道上B遺跡・
道上C遺跡 |
| 8 羅漢町遺跡 | 19 蔵畑Ⅲ遺跡 | 31 金原城跡 |
| 9 三ツ寺鍛冶街道遺跡 | 20 長竜遺跡 | 32 柳沢B遺跡 |
| 10 保渡田押出遺跡・
保渡田裸薬師遺跡 | 21 一本木遺跡 | 33 柳沢遺跡 |
| 11 上芝大杉遺跡 | 22 西上之宮遺跡 | 34 中小坂鉄山・製鉄所跡 |
| | 23 東上之宮遺跡 | |

1 やしろみなみ 社南遺跡

所在地 伊勢崎市野町

担当者 多賀谷 蓮・廣津英一

遺跡の立地

本遺跡は、大間々扇状地桐原面の扇央部西端に相当する鎚木川左岸ローム台地上に立地する。標高は約119mである。周辺には、鎚木川上流右岸側の北方約1.5kmに十二社遺跡^{じゅうにそう}、同じく約2.7kmに武井遺跡、西方約1kmに今井北原遺跡、同じく約2kmの多田山丘陵頂上部付近に今井三騎堂遺跡・今井見切塚遺跡など、多数の旧石器遺跡が分布している。

調査の概要

本調査は、一般国道50号(前橋笠懸道路)建設事業に伴う発掘調査で、調査面積は685㎡(旧石器本調査面積)である。

令和5年度の調査によって、古墳時代～古代の集落が形成されていたことが明らかになった。縄文時代以降の調査終了後、調査区全体にトレンチを設定して旧石器確認調査を実施した結果、層厚約1.5mのローム層から上層より順に、第1文化層、第2文化層、第3文化層の3時期の旧石器遺跡の存在を確認した。今年度の調査は、この3時期の文化層を対象として実施した旧石器本調査である。

旧石器時代 第1文化層は、As-YPからAs-0k1相当層で検出された細石刃石器群の文化層である。硬質頁岩製削片系細石刃石器群と黒曜石製稜柱形細石刃石器群が別々のブロックから出土した。

第2文化層は、As-BPG下位からAT相当層で検出された石刃石器群の文化層で、黒曜石製ナイフ形石器や石刃が出土した。

第3文化層は、暗色帯下位で検出された文化層である。1か所の礫群で構成され、石器ブロックの共伴はなかった。礫群は径5mほどの範囲に分布し、構成礫は主に粗粒輝石安山岩製の円礫・亜円礫で、被熱痕や付着物が明確ではなかった。

(多賀谷 蓮)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「前橋」使用



旧石器調査区全景(東から)



第2文化層・遺物出土状況(西から)



第3文化層・礫群出土状況(西から)

2 おいせざか 御伊勢坂遺跡

所在地 伊勢崎市赤堀今井町

担当者 多賀谷 蓮・廣津英一

遺跡の立地

本遺跡は多田山丘陵の東側、粕川右岸の低台地東部に立地する。標高は約130mを測る。

調査の概要

本調査は、一般国道50号(前橋笠懸道路)建設事業に伴う発掘調査で、調査面積は4,113.55㎡である。

本年度は古代の集落跡、縄文時代に帰属する土坑などを調査した。

旧石器時代 確認調査の結果、1点のナイフ形石器が出土したのみである。

縄文時代 フラスコ状土坑を2基検出した。そのうち1基からは、石皿が逆位の状態で出土している。そのほかは石鏃や土器片がごく少量表土から出土したのみで、活発な遺跡形成の様子は見られなかった。

古墳～平安時代 11棟の竪穴建物を検出した。竪穴建物にはいずれもカマドが付属する。その中には台付甕を逆位に据え、支脚に転用したカマドもあった。掘立柱建物は3棟検出された。このうちの1棟は複数のピットが重複していることから、建物の建て替えを行った可能性がある。出土遺物もそのほとんどが古代の土師器・須恵器である。おおよそカマドの周辺に遺物の分布が集中する傾向にあり、一部はカマドの構築材に使われている様子が見られた。土器以外には、編組製品の製作に利用されたであろう棒状の礫の出土も見られる。また、緑泥片岩製の管玉が床面直上から出土している。

中・近世 As-B混土で埋没する耕作痕が検出されたが、そのほかに明確な遺構は確認されなかった。

(多賀谷 蓮)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「前橋」使用



カマドの支脚に転用された台付甕(西から)



建て替えを行った可能性のある掘立柱建物(南から)



出土した管玉(南から)

3 ^{いま い きたはら}今井北原遺跡・^{いま い にしはら}今井西原遺跡

所在地 伊勢崎市赤堀今井町

担当者 多賀谷 蓮・廣津英一

遺跡の立地

本遺跡は多田山丘陵の東側、粕川右岸の低台地上に立地する。標高は約130mを測る。

調査の概要

本調査は、一般国道50号(前橋笠懸道路)建設事業に伴う発掘調査である。調査面積は今井北原遺跡が1,907.86㎡、今井西原遺跡が237.22㎡である。

今井北原遺跡では古代の集落跡を調査した。なお、今井西原遺跡の調査では遺構・遺物は確認されなかったため、以下では今井北原遺跡の調査成果のみを記す。

旧石器時代 トレンチを設定して確認調査を行ったが、遺物は出土しなかった。

古墳～平安時代 6棟の竪穴建物を検出した。そのうちの1棟は特徴的な建物であり、最低1度の建て替えを伴い、かつ、建て替え後に建物中央部に土器埋納を行ったものであった。この建物床面中央部には遺物および灰・焼土が集中して堆積していた。これを取り除くと、床面を掘りぬく深さ約150cmの土坑が検出され、その底面から完形の土師器甕が出土した。また、掘方調査を行ったところ、床下からより古い建物の支柱穴が見つかった。古い建物の柱穴配置は、新しい建物の配置より一回り小ぶりで、その位置はちょうどカマドの正面に位置する。カマドは作り替えられた痕跡がないことから、おそらく古い建物のカマドはそのままに、建物プランを拡張したものと思われる。

(多賀谷 蓮)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「前橋」使用



建物中央の遺物集中(西から)



床を掘り込む中央土坑と床下から検出した柱穴(南から)



床下に埋納された甕(南から)

4 ^{た だ やまひがし} 多田山東遺跡

所在地 伊勢崎市赤堀今井町

担当者 多賀谷 蓮・廣津英一

遺跡の立地

本遺跡は、多田山丘陵のすぐ東側の低台地上、標高約130mに立地する。付近には南流する河川が複数存在し、台地と谷地が入り組む地形である。近年の圃場整備の関係で、遺跡周辺は台地上を削平し水田化した箇所が多くあり、本遺跡もその中に含まれる。

調査の概要

本調査は、一般国道50号(前橋笠懸道路)建設事業に伴う発掘調査で、調査面積は5,390.52㎡である。

令和4年度調査に引き続く4区、県道76号線北の6区、および伊勢崎市道下の7区の調査を実施した。

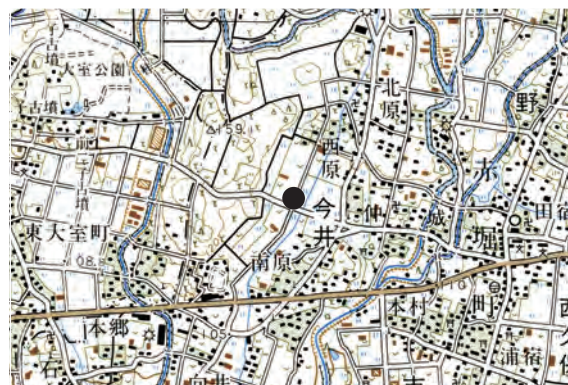
旧石器時代 確認調査を実施したが、石器の出土はなかった。

縄文時代 土器片や剥片が出土したが、これに明確に伴う遺構は検出されなかった。

古墳～平安時代 竪穴建物63棟、掘立柱建物25棟、方形区画溝1条などを検出した。竪穴建物の中には焼失家屋も数棟みられ、土器のほか編み物に使ったと考えられる棒状礫や線刻のある紡錘車出土している。また、2本柱を持つ竪穴建物も検出されており、この建物床面からは耳環が出土した。掘立柱建物は調査区北側にまとまって検出されており、倉庫群があった可能性がある。方形区画溝は令和4年度調査時に確認されていたものと同一遺構であり、7区の現道下の調査からその続きが発見された。

中・近世 As-Bが混じる黒色土で埋没した井戸や、複数条が並行する溝を検出した。溝は畑のサクとみられる。

(多賀谷 蓮)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「前橋」使用



焼失した竪穴建物(西から)



2 本柱の竪穴建物(西から)



方形区画溝の検出状況(西から)

5 まえばし し 前橋市0327遺跡

所在地 前橋市飯土井町

担当者 多賀谷 蓮

遺跡の立地

本遺跡は、神沢川右岸の微高地上、標高約90mに立地する。遺跡は近隣河川の洪水によって堆積したと考えられる砂層およびシルト層を掘り込んで形成されている。

調査の概要

本調査は、苗ヶ島飯土井線社会資本総合整備事業に伴う発掘調査であり、令和5年度調査に引き続くものである。調査面積は1238.6㎡である。

主に古墳時代前期の集落遺跡を調査した。竪穴建物埋土や床面からS字状口縁台付甕が出土している。

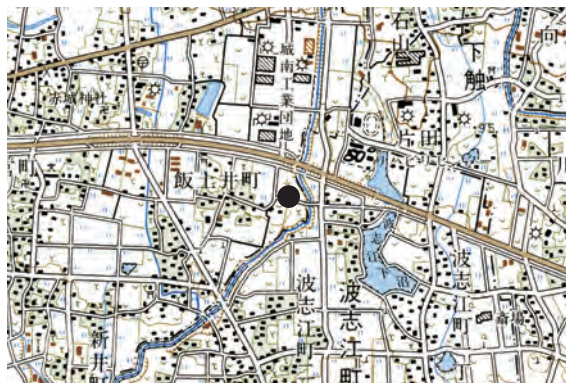
旧石器時代 トレンチを設定して確認調査を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。

縄文時代 遺物として表土から石鏃が1点出土したのみである。縄文確認トレンチは合計3か所設けたが、いずれも遺構・遺物は確認されなかった。

古墳時代 竪穴建物8棟、溝3条、土坑12基、ピット44基が検出された。竪穴建物からは、古墳時代前期に帰属するS字状口縁台付甕が出土していることから、本遺跡は4世紀ごろに形成されたと判断される。このうち2棟の竪穴建物の柱穴については、その構造を検討するために断割調査を実施した。その結果、柱穴底面において、礫が込められている様子や、硬く締まる土層があることを確認した。これは、砂質土において柱材が沈み込まないようにするための処理を行った痕跡と考えられる。

奈良・平安時代～中・近世 土坑1基が検出されたが、遺物は出土しておらず時期は判然としない。

(多賀谷 蓮)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「沼田」使用



古墳時代の竪穴建物遺物出土状況(南から)



S字状口縁台付甕(南から)



柱穴断割状況(西から)

6 いけふじのき 池藤ノ木遺跡

所在地 高崎市吉井町池

担当者 迫田睦生・原 雅信

遺跡の立地

本遺跡は、鎭川右岸に形成された河岸段丘の下位段丘面(吉井段丘)上に立地し、標高は106~108mで遺跡の北側は傾斜地となっている。遺跡から北東方向約300mには多胡碑があり、南東約500mには多胡郡正倉跡も確認されている。

調査の概要

本調査は、高崎神流秩父線社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は2403.4㎡である。

本年度は、調査区を3区に分け、As-B混土層下を調査面として調査をおこなった。平安時代と縄文時代の遺物が同じ面で確認できたが、縄文時代の遺構はわずかで、平安時代の遺構が大部分を占めた。

縄文時代 土坑が1基確認できた。そのほか遺構は伴わないが、中期を中心とした遺物が多く出土した。

平安時代 10世紀代を中心とした遺構が確認できた。竪穴建物は18棟確認でき、その多くが東側にカマドを付設していた。竪穴建物を多く検出した1区では、合計5棟の竪穴建物が重なり合うように切りあっていた。5号竪穴建物のカマドはほかの竪穴建物のカマドを直交するように壊して作られており、天井は砂岩を加工した板石を利用していた。竪穴建物の形状は長方形を呈するものが多い。遺物は土器類の他に土錘が数点出土した。

3区からは鍛冶炉の痕跡が見つかった。ほとんどが近代の攪乱により壊されており、確認できたのは下部構造のみである。周辺には廃棄土坑と思われる土坑が確認され、中から羽口や炉壁が出土した。そのほか周辺から鉄滓や椀形滓が出土した。

近 世 As-A混土層に覆われた暗渠を1条確認した。詳しい時代は不明である。

(迫田睦生)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「富岡」使用



上空から見た池藤ノ木遺跡(右が北)



5号竪穴建物カマド(西から)



平安時代の鍛冶炉検出状況(東から)

7 いけみやのまえ 池宮ノ前遺跡

所在地 高崎市吉井町池

担当者 迫田睦生・原 雅信

遺跡の立地

本遺跡は、鎭川右岸に形成された河岸段丘の下位段丘面(吉井段丘)上に立地し、標高は105mである。南側に隣接して池藤ノ木遺跡がある。

現況は水田であり、周囲には平坦面が広がっている。近隣には多胡碑が存在し、南東500mには多胡郡正倉跡も確認されている。

調査の概要

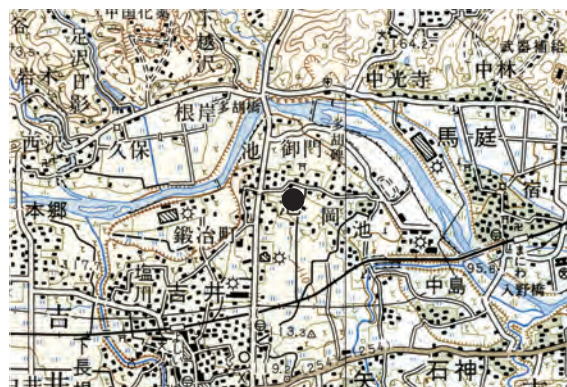
本調査は、高崎神流秩父線社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は3634.80㎡である。

遺構確認は2面で行った。基本的な土層堆積は、表土、As-A混土層、As-B混土層、As-B層、黒褐色粘質土層、黄褐色粘質土層、砂礫層という層準を示す。第1面(江戸時代)はAs-A混土層下、第2面(平安時代)はAs-B層下で調査を実施した。

平安時代 段丘を形成する礫層は起伏が存在し、As-B層下で礫面が露出する地点も確認された。現在の水田は近年の土地改良により整備されたもので、かつては細かな起伏を有する地域であったとみられる。As-B層は5cm～10cmの層厚で堆積するが、上層からの攪乱が多く、As-B層中に粘質土や黒褐色土がブロック状に含まれる箇所やAs-B混土層が埋没水田面である黒褐色粘質土層を被覆する部分も確認されている。As-B埋没水田は状態があまり良好ではないが、畦畔の痕跡を部分的に確認した。

近 世 As-A混土層下で、同軽石の復旧坑を確認した。部分的な確認であるが、痕跡から判断して広範囲に復旧坑が存在した可能性が認められる。

(原 雅信)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「富岡」使用



上空から見た池宮ノ前遺跡(左が北)



As-B下の調査状況(南から)



As-A復旧坑の調査状況(北西から)

8 ^{らんかんちよう} 羅漢町遺跡

所在地 高崎市羅漢町

担当者 新井 仁

遺跡の立地

本遺跡は、南東流する烏川と井野川に挟まれた高崎台地上で、烏川左岸の縁辺部付近に立地する。遺跡の標高は約95mである。

調査の概要

本調査は、国道354号(羅漢地区)単独道路改築事業に伴う発掘調査で、調査面積は94.9㎡である。遺構確認面は暗褐色土ブロックを含む褐色土上面であるが、断面で見るとその上層から掘り込んでいる遺構もあった。

近 世 遺構はすべて近世の所産と考えられ、溝1条、土坑7基、ピット22基が検出された。1基の土坑は一部調査区外にかかっているが、径約3m、深さ約50cmと大型で、多量の瓦が出土しており、土坑内に瓦を一括して廃棄した可能性が高いものである。瓦の中には、割れたものを銅線で縛って補修したものもあった。また、上部には焼土を混入した土層が堆積していた。溝は調査区西端部で確認され、ごく一部の調査となったため性格は不明である。ピットは多数検出されているが、建物の柱穴になると考えられるものは確認できなかった。遺物は瓦の他に、陶磁器、炭化材、鉄釘、銅銭等が出土している。

(新井 仁)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「高崎」使用



調査区西部全景(東から)



調査区東部全景(東から)



大型土坑瓦出土状況(東から)

9 ^{みつでらかじかいどう}三ツ寺鍛冶街道遺跡

所在地 高崎市三ツ寺町

担当者 田村 真・大木紳一郎

遺跡の立地

本遺跡は、榛名山東南麓の相馬ヶ原扇状地扇端部に立地する。西端を唐沢川で画された南向き緩斜面の地形を呈している。標高は142～140mである。

調査の概要

本調査は、西毛広域幹線道路(高崎工区)建設に伴う発掘調査であり、令和4年度に実施した2区の南半部を調査対象地とした。調査面積は3642.76㎡である。検出された遺構は、竪穴建物48棟、掘立柱建物2棟、土坑83基、ピット154基、溝12条である。判明した遺構・遺物の時代は、縄文・古墳・飛鳥・奈良・平安の各時代と中～近世である。

本遺跡は古墳時代後期から平安時代後期まで続く集落跡で、7世紀後半代から10世紀まで間断なく継続している。

縄文時代 遺構は確認されなかったが、後世の遺構から中期～後期の土器片と石器数点が出土した。

古墳時代 6世紀後半の竪穴建物1棟を確認した。

飛鳥時代 7世紀代の竪穴建物10棟を確認した。

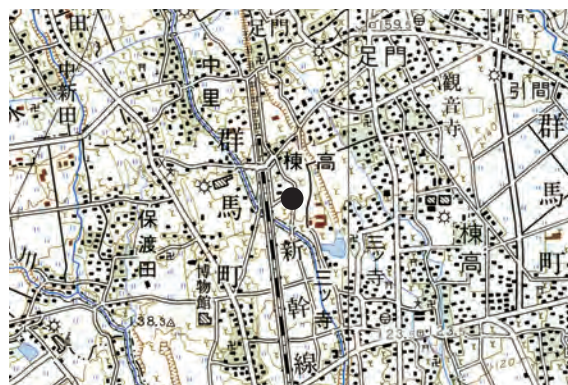
奈良時代 竪穴建物11棟を確認し、貯蔵穴周囲を礫で囲む珍しい構造が見つかった。

平安時代 9世紀から10世紀後半までの竪穴建物25棟が確認された。

中・近世 溝12条が確認された。

その他 掘立柱建物、土坑、ピットについては時期認定可能な出土遺物が見られないため時期不明としたが、竪穴建物との位置関係や埋土の特徴から飛鳥時代～近世に帰属すると推定される。

(田村 真)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「榛名山」使用



奈良時代の竪穴建物(南から)



奈良時代の竪穴建物カマド(西から)



奈良時代の竪穴建物石囲貯蔵穴(北から)

10 保渡田押出・保渡田裸薬師遺跡

所在地 高崎市保渡田町

担当者 田村 真・多賀谷 蓮・廣津英一・
大木紳一郎

遺跡の立地

本遺跡は、榛名山の東南麓に展開する相馬ヶ原扇状地の扇端部付近に立地する。東端を唐沢川、西端を小河川で画された南向き緩斜面で、小規模な埋没谷が樹枝状に残されている。標高は139m前後である。

調査の概要

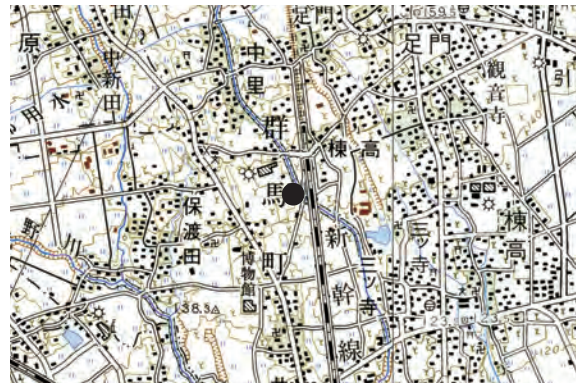
本調査は、西毛広域幹線道路(高崎工区)建設に伴う発掘調査であり、調査第3年次にあたる。令和4・5年度の調査地点の西方地区で、調査面積は5125.11㎡を対象とした。

確認された遺構は、竪穴建物55棟、掘立柱建物3棟、土坑70基、ピット160基、溝28条、道状遺構1条、埋没河川1か所である。年代は、古墳時代後期から中近世までで、特に飛鳥時代から平安時代までは継続的な集落の様相がうかがえる。保渡田押出遺跡と保渡田裸薬師遺跡の登録名は字界により異なるが、隣接する保渡田押出遺跡(高崎市調査分)や三ツ寺Ⅲ遺跡を含めた同一遺跡である。

古墳時代 後期後半の竪穴建物10棟、土坑2基が確認された。調査区のほぼ中央地点の92号竪穴建物は、南北に走る地割れで切られ、最大20cmほどの床面段差と噴砂が確認された。

飛鳥～平安時代 主に7世紀後半～10世紀末の竪穴建物41棟、土坑13基、溝28条、道状遺構1条が確認された。道状遺構は、ほぼ南北に走る直線状の溝状遺構として確認された。幅は4mほど、底面には波板状くぼみが連続する。硬化面は確認できなかったが、令和5年度の北側隣接地点で検出された道状遺構と同一遺構であり、10世紀代の竪穴建物に切られていることが判明している。

(大木紳一郎)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「榛名山」使用



古墳時代の竪穴建物地割れ(南から)



平安時代の竪穴建物カマド(西から)



平安時代の道状遺構(北西から)

11 ^{かみしばおおすぎ}上芝大杉遺跡

所在地 高崎市箕郷町上芝

担当者 唐沢友之・新井 仁

遺跡の立地

本遺跡は榛名山の南東麓、井野川右岸の扇状地の緩斜面上に立地する。標高は約150mである。

調査の概要

本調査は、西毛広域幹線道路(高崎工区)社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は522.74㎡である。

遺構確認面はAs-B下面(平安時代)、Hr-FP下面(古墳時代後期)、Hr-FP・Hr-FA間の黒色土上面(古墳時代後期)、Hr-FA下面(古墳時代後期)、As-C下面(古墳時代前期) As-C下黒色土下面(弥生時代以前)の6面で、Hr-FP、Hr-FAに伴う泥流に厚く覆われていた。

縄文時代 遺構は検出されなかったが、土器・石器が数点出土した。

弥生時代 竪穴建物 1 棟が検出された。出土遺物から後期の所産と考えられる。

古墳時代 積石塚と考えられる古墳 1 基がHr-FA直下で検出された。墳丘規模は南北約 5 m、東西は調査区外に続くため不明であるが、現況で約 4 m確認できている。周溝は幅約 1 m、深さ約10cmで、墳丘の高さは周溝内側から約40cmである。墳丘の頂部に礫を2.8m×1.9mの範囲で方形に配置し、中央やや北寄りに主体部を作っている。天井は大型の礫を 2 段に積んで作られている。主体部は長さ105cm、幅25cm、深さ約20cmと小規模である。主体部から骨が出土しているが、残存状況が悪く詳細は不明である。他に土坑が 1 基検出されている。

平安時代 溝 1 条、土坑 1 基、ピット 2 基が検出されている。いずれもAs-Bを埋土とするものであるが、出土遺物はなく性格は不明である

(新井 仁)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「榛名山」使用



Hr-FA 下面全景(上が東)



古墳時代後期の積石塚(西から)



As-B 下面全景(西から)

12 ^{しもしばやっ}下芝谷ツ遺跡

所在地 高崎市箕郷町下芝

担当者 唐沢友之・新井 仁

遺跡の立地

本遺跡は榛名山の南東麓、井野川右岸の扇状地の緩斜面上に立地する。標高は約148mである。

調査の概要

本調査は、西毛広域幹線道路(高崎工区)社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は1670.94㎡である。遺構確認面は洪水砂層上面(中近世)、As-B下面(平安時代)、Hr-FP下面(古墳時代後期)、Hr-FA下面(古墳時代後期)、As-C下面(古墳時代前期)As-C下黒色土下面(弥生時代以前)の6面で、Hr-FP、Hr-FAに伴う泥流に厚く覆われていた。

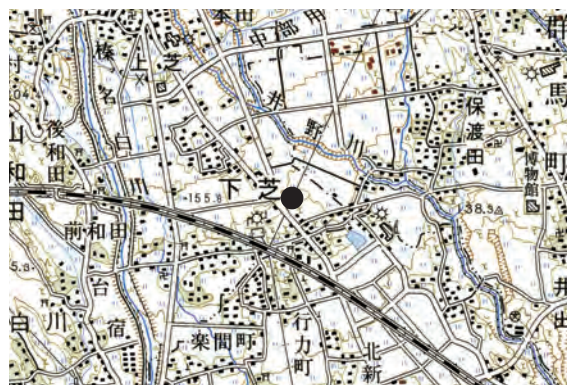
弥生時代 半完形の後期の土器が出土しているが、遺構は検出されなかった。

古墳時代 土坑1基、水田が1面、溝1条が検出されている。土坑は長軸2.5mで、埴形土器の完形品が出土している。水田はHr-FA下面で検出されており、1枚が2.5～3m×1.5～1.8mの極小区画水田で、約30枚確認された。溝はHr-FP下面で検出されており、幅約4mの大規模なもので、長さ15mほどの範囲で確認できた。また、Hr-FA下面で、低地から台地へ上がる斜面が検出されており、2m以上の段差が確認された。

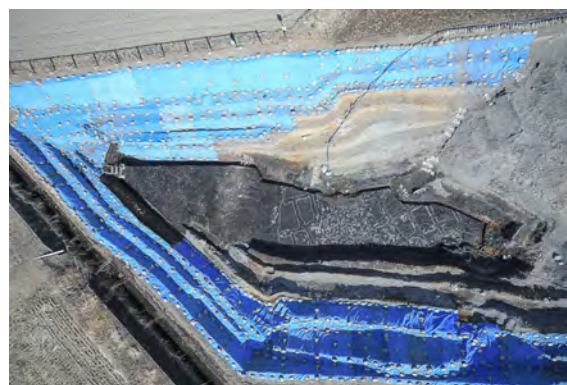
平安時代 溝2条、水田1面が検出されている。いずれもAs-B下面で確認されており、溝は幅0.8～1mの規模で、水田に伴うものと考えられる。水田は西壁際で幅1～2m程度しか確認できなかったため詳細は不明であるが、平坦面が南に向かって段状に低くなっている。

中・近世 溝が5条検出されている。調査区の東部と西部にあり、幅1～5mほどの規模である。

(新井 仁)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「榛名山」使用



Hr-FA下面全景(上が北)



Hr-FA下水田(東から)



As-B下面全景(西から)

13 下里見中原遺跡

しもさと み なかはら

所在地 高崎市下里見町

担当者 石川真理子・小林 徹

遺跡の立地

本遺跡は、榛名山の南麓を東南流する烏川右岸の河岸段丘上に立地する。標高は約175mである。西方約400mに戦国時代の里見城址がある。

調査の概要

本調査は、下里見安中線社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は3380.42㎡である。

本年度は、1区から3区の調査区において、第1面(中近世以降)、第2面(古代)、第3面(弥生時代以前)の3面を調査した。

旧石器時代 トレンチを設定して旧石器確認調査を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。

縄文時代 包含層から土器片は出土しているが、遺構は確認されなかった。

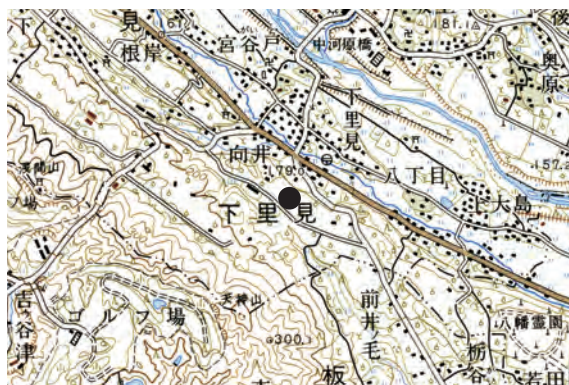
弥生時代 古墳時代初頭か検討を要するものも含めて、竪穴建物3棟を調査した。うち1棟からはほぼ完形の土器が床面から数点出土した。

古墳時代 竪穴建物9棟を調査した。5世紀が1棟で他は6世紀後半から7世紀後半である。カマドは北西向きのもので多く、4棟は一辺6m以上ある大型の建物である。

奈良・平安時代 8・9世紀を中心とした32棟の竪穴建物と多数の土坑、ピットを調査した。カマドは北東方向を向く傾向が強くなる。1区中央部には一辺7～8mの大型竪穴建物が少しずつ重複しながら集中していた。また、建物の規模に関わらずカマドに大量のロームを使用するものが多く、床下からその採掘のためと思われる大型の土坑が確認されている。

中・近世 1区で掘立柱建物3棟を調査した。いずれも長軸を北西方向に取り、2間×3間で約7m×5mの規模である。

(小林 徹)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「榛名山」使用



1 区中央部遺構検出状況(上が南東)



古墳時代の竪穴建物カマド(南東から)



中世以降の掘立柱建物(南東から)

14 しもさと みうえの はら 下里見上ノ原遺跡

所在地 高崎市下里見町

担当者 石川真理子・小林 徹

遺跡の立地

本遺跡は、榛名山の南麓を東南流する烏川右岸の河岸段丘上に立地する。標高は約175mである。西方約400mに戦国時代の里見城址がある。

調査の概要

本調査は、下里見安中線社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は1539.16㎡である。

本年度は、As-C混土層直下の黒色土上面を古墳時代～平安時代の第1面、その下のローム層上面を弥生時代以前の第2面として調査した。いずれの時期も、台地の頂上部に遺構が集中した。

旧石器時代 トレンチを設定して旧石器確認調査を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。

縄文時代 包含層から土器片は出土しているが、遺構は確認されなかった。

弥生時代 長方形の木棺の小口(短辺側)に礫を積み上げる後期の墓(礫床木棺)を単独で2基、2基組を2か所の計6基調査した。2基組の一つは円形の周溝が巡り、うち南側の墓は全面に礫を施す構造や、木棺部分から多数の完形土器や玉類が出土するなど、他の墓とは違う様相を見せている。

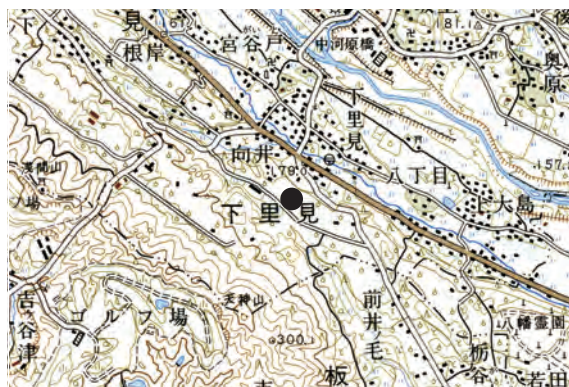
他に竪穴建物1棟を調査した。礫床木棺墓とほぼ同時期であり、何らかの関連が想起される。

古墳時代 竪穴建物1棟を調査した。攪乱によりカマドは破壊されていた。

奈良・平安時代 竪穴建物8棟を調査した。下里見中原遺跡と同様に、床下に大型の土坑を有するものもあった。

中・近世 井戸1基と土坑、ピット、溝等を調査した。ピットは隣接する下里見大通遺跡と連続する地形の傾斜変換点周辺に列状に集中し、柵が築かれていたと考えられる。

(小林 徹)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「榛名山」使用



遺構集中部全景(上が北東)



弥生時代の円形周溝墓(上が南西)



古代の竪穴建物掘方及び床下土坑(南西から)

15 しもさと み おおどおり 下里見大通遺跡

所在地 高崎市下里見町

担当者 石川真理子・小林 徹

遺跡の立地

本遺跡は、榛名山の南麓を東南流する烏川右岸の河岸段丘の斜面上に立地する。標高は160～175mである。段丘上には里見古墳群が広がり、西方約400mに戦国時代の里見城址がある。

調査の概要

本調査は、下里見安中線社会資本総合整備事業に伴う発掘調査である。同一事業で近接する下里見中原遺跡、下里見上ノ原遺跡とともに調査を行った。本遺跡の調査面積は851.67㎡である。

調査区は大半が傾斜地であるため、わずかに残る二段の平坦地の調査を行った。As-C混土層までは造成による攪乱を受けていたため、その下の黒色土上面を古墳時代～平安時代の第1面、その下のローム層上面を弥生時代以前の第2面とした。上段のトレンチでは、旧地形の傾斜が緩やかであったため、隣接する下里見上ノ原遺跡側に拡張し、一体化して調査を行った。

旧石器時代 トレンチを設定して旧石器確認調査を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。

縄文～古墳時代 包含層から土器片は出土しているが、遺構は確認されなかった。

奈良・平安時代 平安時代と思われる道路跡を1条調査した。傾斜地では鉄分が硬く沈着する窪みが階段状に連なり、平坦部では浅い溝状になっていた。また、これに並行する浅い溝も1条調査した。

中・近世 本遺跡と下里見上ノ原遺跡を跨ぐ河岸段丘の傾斜変換点に沿って並ぶように多数のピットが存在したことから、柵が築かれていたと考えられる。

(小林 徹)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「榛名山」使用



調査区遠景(南東から)



平安時代の道路跡(北西から)



中世の柵(ピット列)(北西から)

16 ^{もとじゆく}本宿遺跡・^{まちきた}町北遺跡・ ^{ちじり}地尻遺跡・^{かみのじり}上野尻遺跡

所在地 安中市安中

担当者 塩谷貴彦・木村 収

遺跡の立地

本遺跡は、碓氷川及び九十九川が東流することで形成された、河岸段丘の中位段丘面である原市・安中台地上に立地する。標高は173m前後である。

調査の概要

本調査は、(都)3・6・10号南北中央幹線(他1路線)無電柱化推進計画事業に伴う発掘調査で、調査面積は712.3㎡である。

本年度は、隣接する本宿遺跡9区、町北遺跡3・4区、地尻遺跡1区、上野尻遺跡1区の調査を実施した。

旧石器時代 トレンチによる旧石器確認調査を行ったが、石器は確認されなかった。

縄文～古墳時代 遺構は確認されなかったが、縄文時代の磨石が1点出土した。

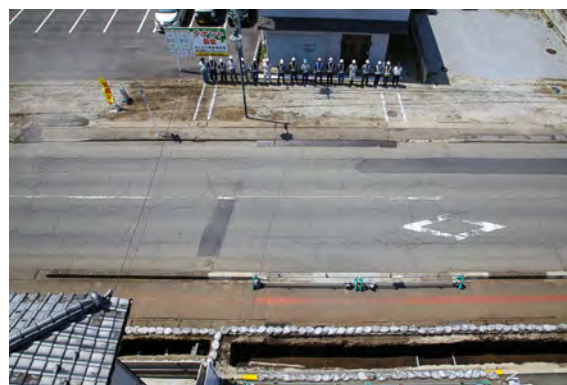
奈良・平安時代 土坑4基、ピット7基、溝3条を調査した。町北遺跡3a区及び3b区で検出された6号溝、7号溝は、調査区の東約200mにある旧安中高校校庭で見つかった推定東山道駅路の延長線上であることから同一の遺構である可能性が高い。両溝ともに幅は1m前後で、両溝の間(道幅)は約10mであった。

中・近世 土坑38基、ピット17基、溝7条、畑2か所を調査した。中世では、町北遺跡3b区で土坑1基を調査した。人頭大の礫及び陶器片が出土している。近世では、多くの調査区でAs-Aを廃棄した復旧坑を20基調査した。道路拡幅調査のために部分的な確認ではあるが、土地の筆ごとに復旧坑の幅や走行が異なっていた。中山道(旧国道18号)に接する上野尻遺跡1a区では、壁面に石を積み上げた穴倉状の施設を調査した。地尻遺跡1区と本宿遺跡9区では、畑と桶を埋設した土坑を調査した。

(木村 収)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「榛名山」「富岡」使用



推定東山道駅路(手前)と推定線(東から)



推定東山道駅路 南側側溝(南から)



江戸時代の復旧坑(東から)

17 ^{しもだ}霜田遺跡

所在地 安中市上間仁田

担当者 塩谷貴彦・木村 収

遺跡の立地

本遺跡は、碓氷川右岸の上位段丘面である横野台地東端部に立地する。遺跡の東側に天神川によって開析された谷地、南側に天神川に向けて東流する小河川によって開析された谷地を臨む。標高は226m前後である。南側に隣接して道前久保遺跡がある。

調査の概要

本調査は、(一)安中富岡線社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は235.5㎡である。

本年度は、昨年度の調査区と接する4区の調査を実施した。

旧石器時代 2×4mのトレンチを2か所設定して旧石器確認調査を行ったが遺物は出土しなかった。

縄文時代 掘立柱建物1棟、土坑11基、ピット16基、埋甕1基を検出した。掘立柱建物の規格は、1間×2間である。土坑は平面形状が円形のものが多く、断面が袋状を呈するものもあった。各遺構の時期は、中期後半に帰属するものと思われる。

奈良・平安時代 竪穴建物1棟を調査した。約1/3しか調査できなかったが、一辺は約4mで、残存する壁高は調査区境の断面では約60cmを測る。東壁の南寄りにカマドがあり、カマド周辺を中心として8世紀後半から9世紀前半の土師器や須恵器が出土している。竪穴建物の床下からは5基の床下土坑が検出された。また、前年度に検出されていた地震によるとと思われる地割れが本年度も確認できた。この地割れは、竪穴建物の脇でも確認され、地割れの中には竪穴建物カマドに由来する焼土が堆積していた。このことから、地割れは竪穴建物以降であることが明らかになり、遺跡周辺で確認されている他の地割れや地すべり痕跡と同様に、弘仁9(818)年の地震に起因する可能性が高いと考えられる。

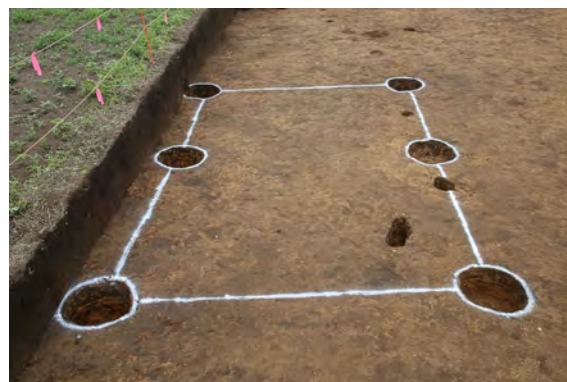
(木村 収)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「富岡」使用



調査区全景(上が北西)



縄文時代の掘立柱建物(南西から)



古代の竪穴建物と地割れ(北から)

18 道前久保遺跡

所在地 安中市上間仁田

担当者 塩谷貴彦・木村 収

遺跡の立地

本遺跡は、碓氷川右岸の上位段丘面である横野台地東端部に立地する。遺跡の東側に天神川によって開析された谷地、南側に天神川に向けて東流する小河川によって開析された谷地を望む。調査区内の標高は221～225m程である。北側に隣接して霜田遺跡がある。

調査の概要

本調査は、(一)安中富岡線社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は1637.4㎡である。本年度は、一昨年度調査した1・2区と接する北側3・4区の調査を実施した。

旧石器時代 2×4mのトレンチを9か所設定して旧石器確認調査を行ったが遺物は出土しなかった。

縄文時代 竪穴建物1棟、土坑6基、ピット14基を調査した。竪穴建物は前期後半諸磯b式期に帰属し、平面形状は長軸4.2m、短軸3.8mの不正円形を呈する。竪穴中央部から北東寄りに浅い地床炉を設けていた。土坑は後期前半のものが多かった。楕円形、隅丸長方形プランの土坑の片隅からは、大型の土器片や完形の土器が出土したものもあった。また、調査区を東西に横断するように地溝状の落込みが検出されたが、土層の断面観察や委託による地質調査の結果、縄文時代の地震による地割れの可能性が高いと結論付けた。

古墳時代 竪穴建物5棟、ピット7基を調査した。竪穴建物の細別時期は前期1棟、中期1棟、後期2棟、不明1棟である。3棟が焼失建物であった。後期の14号竪穴建物は一辺約7mで東壁の南寄りにカマドを設置していた。

中・近世 土坑6基、ピット22基、溝1条、畑1か所を調査した。

(木村 収)



国土地理院5万分の1地形図「富岡」使用



縄文時代前期の竪穴建物(南から)



縄文時代の地割れ(西から)



古墳時代後期の竪穴建物(西から)

19 蔵畑Ⅲ遺跡

所在地 安中市上間仁田

担当者 塩谷貴彦・木村 収

遺跡の立地

本遺跡は、碓氷川右岸の上位段丘面である横野台地に立地する。台地の東側は天神川によって開析され、北東方向へ延びる舌状台地を形成している。この台地の中央を小河川が縦断して谷地を形成しているが、調査区も谷地部分を中心に立地している。調査区の標高は205～208mで、緩やかに北東に傾斜している。北東には蔵畑遺跡、東の台地上には蔵畑Ⅱ遺跡、日向後原遺跡がある。

調査の概要

本調査は、(一)安中富岡線社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は1183.4㎡である。

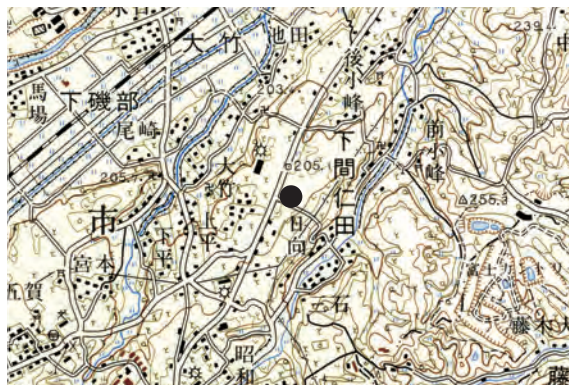
本年度は、調査区を便宜上1a、1b区に分割して発掘調査を実施した。調査は、第1面(江戸時代)、第2面(古代)、第3面(古代)と重層的に行った。

旧石器時代～古墳時代 谷地部が主であることから旧石器確認調査は行っていない。縄文時代以降の遺構は検出されておらず、遺構外からは縄文土器片や弥生土器片、古墳時代の土師器や須恵器が出土している。

奈良・平安時代 2面で溝8条、3面で溝5条を調査した。2面の溝はAs-B混土層を除去して、面的に掘り下げた際に検出された。3面の溝も2面をさらに掘り下げた際に確認できた。各面からは、奈良・平安時代の土師器・須恵器が出土している。

中・近世 As-Aの復旧坑群を調査した。復旧坑は、調査区全面で検出され、大きく3つの群をなしていた。As-A廃棄を目的として掘削された細長い溝であるが、溝の幅はいずれも50cm程度と狭く、溝端部が掘り窪められるという特徴があり、各群で微妙に幅が異なっていた。復旧坑からは、18世紀後半を中心とした陶磁器片が出土している。

(木村 収)



国土地理院5万分の1地形図「富岡」使用



奈良・平安時代の溝(南から)



江戸時代の復旧坑群(南から)



江戸時代復旧坑の断面調査(南から)

20 長竜遺跡

所在地 安中市安中

担当者 塩谷貴彦・木村 収

遺跡の立地

本遺跡は、碓氷川及び九十九川が東流することで形成された、河岸段丘の中位段丘面である原市・安中台地南端の段丘崖上に立地する。碓氷川との比高は約20mで、標高は167～171mである。北約110mに上野尻遺跡がある。

調査の概要

本調査は、(一)安中富岡線社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は1029.6㎡である。

本年度は初年度にあたり、調査区はローム台地と2つの埋没谷からなる変化に富んだ地形である。

旧石器時代 トレンチによる旧石器確認調査を行ったが、石器は確認されなかった。確認調査の際、最下層においてATが確認された。

縄文～古墳時代 遺構は確認されなかったが、縄文土器片や埴輪片が出土した。

奈良・平安時代 竪穴状遺構2基、土坑1基、溝4条、石垣1基を調査した。竪穴状遺構2基は、いずれも一辺3m前後と小型で、掘り込みも浅かった。調査区南東の埋没谷からは、崖線上で石垣が検出された。石垣は、後世の攪乱や崖の崩落に伴い1/2以上を消失していたが、北面と西面の一部(各辺約3m)が確認できた。川原石を用いて最大9段の石が積まれており、7世紀後半から8世紀前半の須恵器や土師器が出土している。

中・近世 掘立柱建物1棟、土坑8基、溝1条、井戸3基を調査した。調査区北側では、台地を南北に分断する断面ルート状を呈する薬研堀を調査した。断面観察により、複数回掘りなおされていることが明らかとなった。底面からは加工痕のある木片が出土している。薬研堀周辺からは、As-B混土を埋土とする井戸が3基検出されている。

(木村 収)



国土院 5万分の1地形図「富岡」使用



遺跡遠景(南から)



古代の石垣(西から)



中世の堀(西から)

21 一本木遺跡

所在地 安中市安中

担当者 塩谷貴彦・木村 収

遺跡の立地

本遺跡は碓氷川の右岸、碓氷川が東流することで形成された河岸段丘の下位段丘面上に立地する。標高は157～158m前後である。

調査の概要

本調査は、(一)安中富岡線社会資本総合整備事業に伴う発掘調査で、調査面積は7902.64㎡である。

本年度は3年次にあたり、過去2年間はAs-A復旧坑群やAs-B下水田を調査した。地形的な特徴などからも生産跡を主体とする遺跡として認識され、下層には砂礫層が堆積することなどから集落の存在は想定されてこなかったが、本年度の調査では古墳時代の集落が検出された。調査により、旧自然流路も検出されており、昭和40年代以降に行われた圃場整備事業以前は、微高地等の起伏にとんだ地形であったことが想定された。

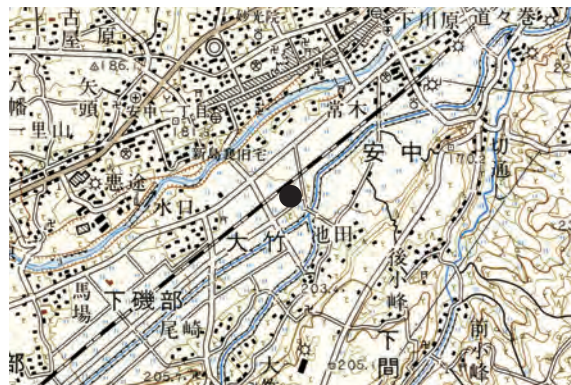
旧石器時代～弥生時代 遺構は確認されなかったが、縄文時代の土器片や石鏃、弥生時代中期の土器片が出土している。

古墳時代 竪穴建物11棟、溝1条、土坑8基を調査した。竪穴建物は前期～中期に帰属する。遺構確認面はAs-B下に堆積する褐色砂質土である。11棟の内訳は、前期6棟、中期5棟で1棟のみカマドを有していた。また、4棟が焼失建物であった。

奈良・平安時代 As-B一次堆積によって被覆された水田を4か所調査した。水田面では、複数の畦畔や水口とともに、円形集石遺構が検出されている。さらに、条里型地割を示唆する大畦畔や集石を伴う土地区画も複数検出されている。

中・近世 土坑2基、溝16条を調査した。調査によって、圃場整備事業前まで使用されていた大溝の起源が中世まで遡ることが明らかとなった。

(木村 収)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「富岡」使用



古墳時代前期の竪穴建物(南から)



平安時代(As-B下)の水田(上が東)



平安時代の円形集石遺構(東から)

22 にしかみのみや 西上之宮遺跡

所在地 伊勢崎市西上之宮町

担当者 平方篤行・唐沢友之・宮下 寛・
松澤樹生・間庭 稔・飛田野正佳・
岩崎泰一・松村和男

遺跡の立地

本遺跡は前橋台地の東南部にあり、利根川合流点に近い藤川左岸に立地する。遺跡内には河川改修前の藤川があり、天明泥流に埋もれた天明期藤川の流路がある。このほか、古墳時代前期や平安時代の流路が確認されるなど、繰り返し流路を変えていた。

調査の概要

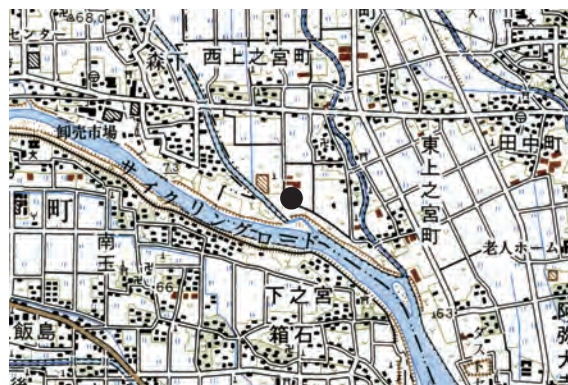
本調査は、一級河川利根川(伊勢崎・玉村工区)河川改修事業に伴う発掘調査で、調査面積は16,534.36㎡である。

本年度は、第Ⅰ面(江戸時代)、第Ⅱ面(中世後半)、第Ⅲ面(中世前半)、第Ⅳ面(平安時代)、第Ⅴ面(古墳時代)を調査、天明期水田・畑、中世前半期耕作痕、古代集落・水田、古墳時代Hr-FA下水田、古墳時代前期河道が確認された。

古墳時代 江戸時代藤川と河川改修前の藤川に挟まれてHr-FAに埋もれた水田が確認された。右岸側の微高地には小規模な祭祀跡があり、小型の手捏ね土器や杯・甕類が出土した。Hr-FA下水田は不自然に窪む箇所があり、下層から4世紀代の河道が確認された。この地点では三又鍬や臍穴を刻んだ建築材が150点ほど出土した。竪穴建物2棟は出土遺物がなく時期不明だが、残る1棟には模倣杯が出土している。

奈良・平安時代 低地部洪水層を掘り込んで溝1条が確認されている。溝は絶えず土壌が流れ込み、安定感を欠いていたが、古墳時代や平安時代の土師器が多量に出土した。

中・近世 水田に接した微高地を居住地とした小規模な中世建物群1か所があるほか、天明泥流に覆われた水田・畑・土手が確認されている。土手脇には溝があり、水路として使われていた。(岩崎泰一)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「高崎」使用



木器の出土状態(西から)



Hr-FA下水田全景(東から)



洪水層で埋もれた中世建物群

23 ^{ひがしかみのみや} 東上之宮遺跡

所在地 伊勢崎市東上之宮町

担当者 平方篤行・唐沢友之・宮下 寛・
松澤樹生・間庭 稔・飛田野正佳・
岩崎泰一・松村和男・新井 仁

遺跡の立地

本遺跡は前橋台地の東南部に立地、利根川と藤川の合流点付近に所在する。遺跡は藤川から宮川まで750mに及び、YP泥流が堆積した。古墳時代遺構確認面と利根川河床面は5mの比高がある。

調査の概要

本調査は、一級河川利根川(伊勢崎・玉村工区)河川改修事業に伴う発掘調査で、調査面積は19,525.81㎡である。

本年度は、第Ⅰ面(江戸時代)、第Ⅱ面(中近世)、第Ⅲ面(中世後半)、第Ⅳ面(中世前半)、第Ⅴ面(平安時代)、第Ⅵ面(古墳時代)、第Ⅶ面(弥生・縄文時代)を調査、中近世水田、古代集落・水田、弥生時代中期後半・縄文時代前期竪穴建物などが確認された。

縄文時代 前期諸磯式期竪穴建物4棟があるほか、土坑が確認されている。竪穴建物には埋甕が伴う。確認面から床面まで深さ0.9mほどになる。

弥生時代 中期後半の竪穴建物2棟が確認されている。ほかに同時期の遺構は確定できていない。

古墳時代 4世紀代竪穴建物1棟があるほか、6世紀初頭期のテフラ(Hr-FA)で埋もれた水田、同洪水層に埋もれた水田が広域に広がっていた。このほか、古墳8基(円墳6・方墳2)が確認された。

奈良・平安時代 9世紀代の竪穴建物13棟、掘立柱建物1棟が水田に接して広がっていた。

中・近世 As-Bを前後する時期の溝が複数あり、水田が断続的に営まれていた。溝の走行はテフラ降下前後で異なる傾向にある。このほか、小規模な中世建物群1か所がある。洪水層を挟んで近世天明泥流に覆われた水田・畑・土手が確認されている。

(岩崎泰一)



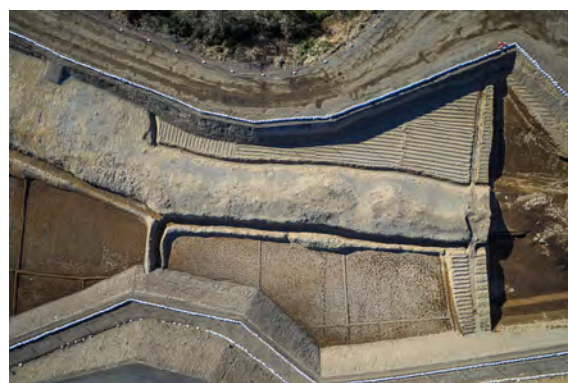
国土地理院5万分の1地形図「高崎」使用



弥生時代中期後半の竪穴建物(南から)



2号古墳石室(南から)



天明泥流下から発見された水田・畑

24 ^{かみふくしませき ね} 上福島関根遺跡

所在地 佐波郡玉村町上福島

担当者 平方篤行・松村和男

遺跡の立地

本遺跡は、利根川左岸に形成された平坦地上にあり、標高は62m前後である。表土下には、天明泥流が堆積し、その下には利根川からの洪水砂層が厚く堆積する。本遺跡の東50mには、樋越薬師遺跡が存在する。

調査の概要

本調査は、一級河川利根川(伊勢崎・玉村工区)河川改修事業に伴う発掘調査で、9,020.83㎡の調査を実施した。

縄文時代 古墳時代の周溝墓の下で、土坑を2基確認した。土坑の形状は、長軸1.2m、深さ0.8mで、陥穴と考えられる。

古墳時代 竪穴建物5棟、周溝墓4基の調査を行った。竪穴建物のうち1棟は、埋土に一次堆積のAs-Cが見られる。竪穴建物には、カマドのないものとあるものがあり、3世紀末から6世紀にかけて営まれた集落と考えられる。周溝墓は4基確認され、うち1基は埋土に一次堆積のAs-Cが堆積する竪穴建物が埋没した後に、それを壊して造られている。

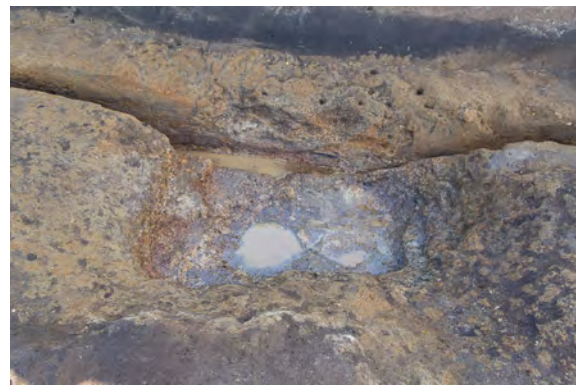
奈良・平安時代 竪穴建物が20棟確認されている。奈良時代から造られ、重複が著しい。このほか、掘立柱建物2棟の調査を実施した。1棟は、柱穴が一辺1mほどの方形状を呈し、9世紀後半の遺物が出土している。

中・近世 中世の遺構としては、利根川洪水砂層下で確認された畑の畝間がある。近世の遺構は、天明泥流下から畑、水田、溝が検出されている。

(平方篤行)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「高崎」使用



縄文時代の土坑（北から）



竪穴建物、掘立柱建物全景（東から）



江戸時代の畑、水田（上が南）

25 たてばやししょうせき じょう か まち 館林城跡・城下町遺跡

所在地 館林市本町

担当者 迫田睦生・原 雅信

遺跡の立地

本遺跡は、邑楽・館林台地上の市街地内にある。本年度調査区は館林城の大手門へと続く通り、現在の大手町大街道線の南北を挟むように設定されている。現地形は平坦であり、標高は約20mである。

調査の概要

本調査は、3・4・11中央通り線無電柱化推進計画事業に伴う発掘調査で、調査面積は488.86㎡である。

本年度は、前年度調査の続きである7区から11区を調査した。すべての調査区で近世の遺構面を確認でき、一部で旧石器確認調査をおこなった。

旧石器時代 トレンチを設定し、旧石器確認調査を4か所で行った。調査の結果、遺構や遺物は確認できなかったが、良好なロームの堆積状況が確認できたため火山灰分析を行った。その結果、As-BPG、As-YPなどの指標テフラに由来する可能性の高いテフラ粒子が確認できた。

近世 近世の溝4条、土坑17基等を調査した。7区から11区にかけて幅約5m、深さ約1.5mの溝を発見した。これは大手門へと続く通りと交差するように南北方向に掘られた溝である。溝の底面にはロームを貼りなおしている痕跡が確認され、何回かの修復がなされていたことがわかった。溝の断面観察からラミナが確認でき、水が流れていたことが想定される。この溝を切るように土坑が検出され、中から人骨が発見された。この土坑に確実に伴う副葬品等は確認できなかった。

(迫田睦生)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「古河」使用



旧石器確認調査トレンチ(西から)



近世の溝(南から)



土坑内の人骨検出状況(西から)

26 しもごう こふんぐん 下郷古墳群

所在地 吾妻郡東吾妻町川戸

担当者 池田 格・飛田野正佳

遺跡の立地

本遺跡は榛名山北麓、吾妻川右岸の河岸段丘上に立地する。標高は375m、吾妻川との比高は20mほどである。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う発掘調査で、調査面積は5807.6㎡である。

確認面は、As-KkおよびAs-Bに被覆された黒褐色粘質土面を第1面、ローム水性堆積土上面を第2面として2面の調査を実施した。

旧石器時代 第2面のローム水性堆積土を大型重機で掘削し基底面の検出を試みたが、湧水と層厚により、基底面に至ることができなかった。

弥生時代 掘立柱建物1棟が確認された。1・3区の遺物集中地点や流路などからも後期の遺物が出土した。

古墳時代 竪穴建物1棟のほか、Hr-FAに被覆された溝を調査した。遺物は竪穴建物からは土器とともに「刳物箱」とよばれる木製品がほぼ完形で出土し、流路等からの出土遺物も多い。

奈良・平安時代 5・7区を除くすべての調査区でAs-Bに被覆された水田を調査した。また、その下層から3・4・9区では道路状遺構が発見され、3・9区の路床部から縦横に敷き詰められた木材や木製品などが出土した。出土材は2000以上に及び、一部は高床建物からの転用材であった。4区では道路状遺構の下を横断して、山側の水を吾妻川方面に流すための暗渠も確認された。本遺跡の北西約300mに推定吾妻郡家、東約1kmに金井廃寺があることから、これらを結ぶ道であったと考えられる。

中・近世 近世以降と思われる土坑状の掘り込みを4基確認した。

(池田 格・飛田野正佳)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「中之条」使用



刳物箱出土状況(東から)



古代の道路状遺構(上が北)



As-B下水田(上が北)

27 ^{すいとうびー}水頭B遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町金井

担当者 宮下 寛・松澤樹生

遺跡の立地

本遺跡は、吾妻川右岸の河岸段丘上に立地する。榛名山北麓で複数の谷が入り込む地形であり、緩傾斜面になっている。標高は約371～376mである。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う発掘調査で、調査面積は4654.98㎡である。

本年度は、1区、2区、3区を調査した。

旧石器時代 確認トレンチを4か所設定し、旧石器確認調査を実施したが、遺物は確認されなかった。

縄文時代 土坑5基とピット5基を調査した。調査区内から前期と考えられる土器片が出土し、草創期の有茎尖頭器も出土している。

弥生時代 遺構は確認できなかったが、後期と考えられる土器片が出土している。

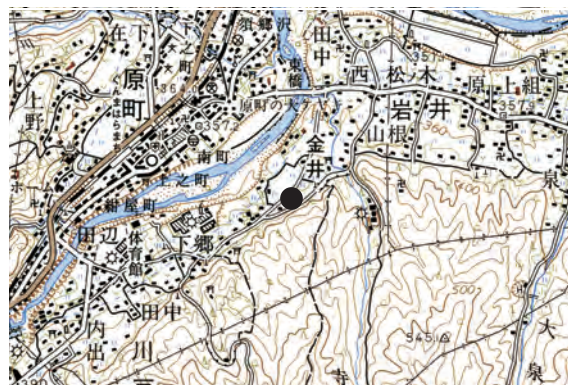
古墳時代 竪穴建物2棟を調査した。うち1棟は遺物の残存状況が良好であり、甕や甗、杯類が出土している。時期はいずれも後期と考えられる。

奈良・平安時代 掘立柱建物1棟、土坑11基、ピット37基、溝8条と落ち込みなどを調査した。落ち込みは古墳時代後期の竪穴建物を壊し、As-Kkが堆積していることや出土した遺物から古代と考えられる。また、落ち込みの底面において波板のような凹凸が認められたことから、道路のような役割を果たすために掘削していた可能性がある。

調査区内から古代の瓦が複数出土しており、近接する金井廃寺との関連が推定される。

中・近世 掘立柱建物1棟、柱穴列1条、土坑11基、ピット9基、溝3条と畑を調査した。10号溝は斜面に平行して走行し、As-Kkで埋没していた。

(松澤樹生)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「中之条」使用



縄文時代草創期の有茎尖頭器(南から)



古墳時代後期の竪穴建物(西から)



古代の落ち込み(東から)

28 かない すいとうさん 金井水頭山遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町金井

担当者 須田正久・宮下 寛・池田 格・
松澤樹生・飛田野正佳・篠原正洋

遺跡の立地

本遺跡は榛名山の北麓にあたり、吾妻川右岸の河岸段丘面上に小河川によって形成された扇状地の扇頂部付近に立地する。遺跡の東側を流れる金井沢が開析した谷を、土砂崩れに起因するロームブロック混じりの厚い再堆積土が埋めており、その上に遺構が形成されていた。標高は約380mである。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う発掘調査で、調査面積は2,292.46㎡である。As-Kkの二次堆積層下面と、再堆積土層上面の2面で調査を行った。

旧石器時代 遺跡内にローム層の堆積が認められなかったことから確認調査は行わなかった。

縄文・弥生時代 遺構は確認されなかったが、再堆積土層から縄文土器や石器がわずかに出土した。

古墳時代 竪穴建物4棟と溝1条を確認した。竪穴建物は、重複する建物に切られている1棟を除いてカマドが残存しており、遺物からいずれも後期に位置付けられる。

奈良・平安時代 竪穴建物12棟と土坑等を確認した。竪穴建物は、東もしくは北側にカマドを持つものが多いが、南東側や西側に作られているものも見られた。うち1棟では、建物のほぼ中央の床面上に鍛冶炉が作られていた。

中・近世 掘立柱建物4棟のほか、土坑、溝などを調査した。掘立柱建物は、調査区の南東部分にまともっており、長軸方向がほぼ一致していた。時期を特定できる遺物は出土していないが、柱穴の埋土にAs-Kkを含むことから中世の遺構と判断した。

(須田正久)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「中之条」使用



調査区全景(東から)



鍛冶炉のある竪穴建物(北西から)



中世の掘立柱建物(下が北)

29 たましな 玉科遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町川戸

担当者 須田正久・篠原正洋

遺跡の立地

本遺跡は、榛名山麓を北流する深沢川が吾妻川へ合流する地点に形成した扇状地上に立地する。標高は430m前後を測る。西方約1.5kmには中世の山城である岩櫃城跡があり、西側には深沢遺跡が隣接する。また、周囲には川戸古墳群の古墳が数基点在する。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス事業に伴う発掘調査で、調査面積は2,676.45㎡である。テフラはAs-Kkの一次堆積層が確認できる。遺構確認面は、第1面(中近世・古代・古墳時代)、第2面(縄文時代)を設定し、一部調査区南西部において縄文時代の遺物包含層調査を実施した。

旧石器時代 調査区北半部に2m×4mのトレンチを設定し、前橋泥流層上面まで旧石器確認調査を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。

縄文時代 中期の竪穴建物2棟、土坑11基、ピット57基を確認した。来年度、本格的に縄文集落の調査を実施する予定である。

古墳時代 古墳2基を調査した。1基は7世紀の古墳と考えられ、墳丘は失われていたが石室と周溝が良好な状態で検出された。もう1基は周溝の一部のみ確認された。

奈良・平安時代 竪穴建物1棟、土坑1基、ピット1基を確認した。竪穴建物は、As-Kk(一次堆積)が埋土下層に堆積していることから、11世紀から12世紀に帰属すると考えられ、古代終末期の竪穴建物の形状や使用土器等を知る上で貴重な資料となった。

中・近世 掘立柱建物3棟、土坑20基、ピット147基、土坑墓5基、竪穴状遺構2基、蔵と考えられる建物1棟を調査した。建物は礎石の下部や礎石と礎石の間に小礫が充填されていた。(篠原正洋)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「中之条」使用



古墳石室と周溝(南東から)



古代の竪穴建物(西から)



蔵と考えられる建物(南から)

30 おくだ かまはら みちうえびー 奥田鎌原遺跡・道上B遺跡・ 道上C遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町奥田

担当者 宮下 寛・松澤樹生

遺跡の立地

奥田鎌原遺跡・道上B遺跡・道上C遺跡は、吾妻川右岸に所在する。道上B遺跡・道上C遺跡は、河岸段丘上の平坦面に立地し、奥田鎌原遺跡は、河岸段丘下を流れる小規模河川の奥田川に隣接する。各遺跡の標高は、約325～350mである。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス2期事業に伴う発掘調査で、調査面積は奥田鎌原遺跡が328.65㎡、道上B遺跡・道上C遺跡が17376.05㎡である。

旧石器時代 トレンチを道上B遺跡で4か所、道上C遺跡で2か所設定し確認調査を行ったが、遺物は出土しなかった。

縄文時代 道上B遺跡で竪穴建物3棟のほか、土坑・ピットを、道上C遺跡で土坑とピットを調査した。道上B遺跡の竪穴建物はいずれも出土した土器から前期と考えられる。土坑のなかには袋状土坑も確認している。また、道上C遺跡では土坑から完形に近い浅鉢が出土している。

古墳時代 奥田鎌原遺跡のHr-FA直下面において土坑と水田を調査した。調査区のほとんどが旧河道であり、確認できた水田は範囲が狭く、明瞭な畦畔も認められなかった。

中・近世 道上B遺跡・道上C遺跡において、掘立柱建物、土坑、ピット、溝、畑を、奥田鎌原遺跡で溝を調査した。道上B遺跡の3号溝は調査区東部を南北方向にほぼ直線状に走行する大規模な溝であり、規模は幅約3m、深さ約1mで、断面形状から薬研堀であることがわかった。

(松澤樹生)



国土地理院5万分の1地形図「中之条」使用



道上C遺跡土坑から出土した縄文土器(南から)



奥田鎌原遺跡全景(南から)



道上B遺跡全景(南から)

31 きんばらじょうあと 金原城跡

所在地 吾妻郡東吾妻町五町田

担当者 新井 仁

遺跡の立地

本遺跡は榛名山の北麓、吾妻川右岸の河岸段丘面上に立地している。標高は約332mである。本遺跡の北西には柳沢B遺跡・柳沢遺跡があり、両遺跡とも縄文時代の列石・配石・竪穴建物などが確認されている。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス2期事業に伴う発掘調査で、調査面積は535.4㎡である。

遺構確認面は2面で、第1面が黒褐色土上面(縄文時代後期)、第2面が黒褐色土ブロックを含む褐色土上面(縄文時代中期～後期)である。古墳時代以降の遺構はさらに上の面で確認できたと考えられるが、面として調査は行っていない。

旧石器時代 3か所のトレンチを設定して旧石器確認調査を行ったが、遺構・遺物は検出されなかった。

縄文時代 竪穴建物1棟、列石2条、配石4基、土坑4基、ピット20基が検出された。竪穴建物は径5mほどの円形で床面に平らな石を敷いた敷石住居であり、中央部に炉を付設している。また、壁際に柱穴が確認されている。出土遺物から、後期前半期の所産と考えられる。敷石住居の北部に接するように列石・配石が検出されており、両者は一体であった可能性が高い。また、形態から陥穴と考えられる土坑が1基検出されている。

古墳時代以降 土坑が3基検出されている。Hr-FA層上面から掘削されているため、古墳時代以降の所産と考えられる。長径1.2～2.2mの楕円形もしくは隅丸長方形であるが、出土遺物はなく性格は不明である。

(新井 仁)



国土地理院 5万分の1 地形図「中之条」使用



第1面全景(上が西)



縄文時代の敷石住居と列石・配石遺構(西から)



縄文時代の陥穴(西から)

32 やなぎさわびー 柳沢 B 遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町新巻

担当者 唐沢友之・新井 仁

遺跡の立地

本遺跡は吾妻川の右岸、標高350mの河岸段丘中位段丘面上に立地する。本遺跡の北には柳沢遺跡、南には金原城跡があり、両遺跡とも縄文時代の列石・配石・竪穴建物などが確認されている。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス2期事業に伴う発掘調査で、調査面積は3,559.64㎡である。水路を境として調査区を1～3区に分割して調査を行った。

本遺跡では、遺構確認面を4面設定した。第1面がAs-Kk混土層下面(中近世)、第2面がHr-FA混土層上面(古墳時代後期)、第3面がHr-FA下黒色土下面(縄文時代中後期)、第4面がローム漸移層上面(縄文時代中期)である。

旧石器時代 全調査区において旧石器確認調査を行い、前橋泥流層上面まで掘り下げたが、遺構・遺物は検出されなかった。

縄文時代 2区において、縄文時代中期から後期にかけての列石と配石、石囲い炉をもつ竪穴建物1棟、埋設土器1基を、また3区で同時期の埋設土器1基を検出した。

古墳時代 1区において、古墳時代後期にあたるHr-FA混土層上面で竪穴建物1棟を検出した。カマド及び貯蔵穴周辺の遺存状態が良好で、ほぼ完形の甕1点や須恵器高坏1点などが出土した。また、3区で同時期と思われる竪穴建物1棟、石槨1基を検出した。石槨は、土師器片を含む焼土混土を掘方埋土として使い、底面には焼土とみられる薄い堆積層が認められた。

中・近世 全調査区において、As-Kk混土層下から土坑及びピットを検出した。

(唐沢友之)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「中之条」使用



縄文時代の列石と配石(東から)



古墳時代の竪穴建物カマド周辺遺物出土状況(西から)



古墳時代の石槨基部出土状況(北から)

33 やなぎさわ 柳沢遺跡

所在地 吾妻郡東吾妻町新巻

担当者 須田正久・篠原正洋

遺跡の立地

本遺跡は榛名山北麓、吾妻川右岸の上位段丘面上に立地する。標高は360m前後を測る。遺跡の北西には深い谷が入り込んでおり、この谷を隔てた対岸に月夜野A遺跡がある。

調査の概要

本調査は、上信自動車道吾妻東バイパス2期事業に伴う発掘調査(第2年次)で、調査面積は11,994.76㎡である。テフラは上からAs-Kk、Hr-FAの一次堆積層が確認できる。遺構確認面は、第1面(中近世・古代)、第2面(古墳・弥生時代)、第3面(縄文時代)を設定した。

旧石器時代 調査区ごとに2m×4mのトレンチを設定し、前橋泥流層上面まで旧石器確認調査を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。

縄文時代 前期から中期の竪穴建物6棟、土坑45基を調査した。

弥生時代 後期の竪穴建物6棟を確認した。主に樽式期の竪穴建物であり、厚さ40~60cmのHr-FA一次堆積層に覆われていたため、残存状況が極めて良好であった。平面形状は長方形が多く、約9m×6mを測る規模の建物もあった。

古墳時代 竪穴建物13棟、掘立柱建物5棟、土坑1基、溝1条、円形状遺構1基を確認した。円形状遺構の溝にはHr-FAの一次堆積層が確認できたため古墳時代の所産と考えられる。遺構に伴う柱穴等は確認できなかったため、用途は不明である。

奈良・平安時代 竪穴建物14棟、掘立柱建物1棟、土坑3基、溝5条、水田1面、畑4区画を確認した。竪穴建物は出土遺物から7世紀から8世紀に帰属するものと考えられる。

中・近世 土坑68基、溝1条、畑3区画を調査した。
(篠原正洋)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「中之条」使用



弥生時代後期の竪穴建物（東から）



古墳時代の円形状遺構（西から）



古代の竪穴建物（西から）

34 中小坂鉄山・製鉄所跡

所在地 甘楽郡下仁田町下小坂

担当者 宮下 寛・松澤樹生

遺跡の立地

本遺跡は、鎚川左岸に所在する。遺跡は山麓斜面に展開し、開析する沢に接している。標高は約300m～350mである。

調査の概要

本調査は、予防治山事業(甘楽郡下仁田町大字下小坂(反替戸)地内)に伴う発掘調査で、調査面積は1312.21㎡である。本年度は、1区の調査を行った。

本遺跡は、明治初期に操業を開始しており、鉄鉱石の採掘から製鉄・加工までを一貫して行っていた製鉄所である。本調査では、そのうちの予防治山事業の範囲に該当するトロッコ道と沢の調査を行った。

近代 土坑1基、トロッコ道1条、石垣12条、石組み6箇所、集石1箇所を調査した。

トロッコ道では、路面において枕木の痕跡や犬釘を検出した。枕木の痕跡のなかには犬釘が刺さった状態のものが存在し、犬釘の使用状況やレールの規格を推定することができる。また、土層の観察から、崖面を削り込み、その土砂を低いところへ敷き込むことで、トロッコ道を造成した過程が明らかになった。他にトロッコ道周辺では鉄鉱石がまとまって出土している。

石垣は沢の両岸に積まれ、そこに直交するように石組みが設置されていた。いわゆる砂防の役割を果たしていると考えられる。

土坑は調査の結果、炭窯であったことと炭窯としての役割を終えた後は農作物などの貯蔵庫として使用されたことが明らかになった。ただし、トロッコ道や石垣との位置関係から直接鉄山に関連する遺構ではないと考えられる。

(松澤樹生)



国土地理院 5 万分の 1 地形図「富岡」使用



中小坂鉄山・製鉄所跡遠景(南から)



トロッコ道全景(北から)



枕木の痕跡に突き刺さった状態の犬釘(南から)

V 付 篇：群馬県内の埋蔵文化財関連事業

1 令和6年度群馬県内発掘調査一覧

番号	遺跡名	所在地	調査担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
1	群馬県地域創生部 文化財保護課 県内遺跡	群馬県内	文化財保護課 石田 真 小林 正 今城未知 萩原清香 樋口典昭	令和6年度群馬 県内公共開発に 伴う県内遺跡発 掘調査	令6.4.1～ 令7.3.31	試掘・確認調査
1	前橋市 茂木諏訪東遺跡No. 2	茂木町	市教委 前田和昭 村越純子 阿久澤友之	道路築造・90	令6.9.2～ 令6.9.13	縄文土坑2、古墳竪穴建物3、古代竪 穴建物2、中世溝1
2	元総社蒼海遺跡群 (152)	元総社町	市教委 前田和昭 村越純子	区画整理事業・ 172.58	令6.6.9～ 令7.2.9	古墳竪穴建物1、古代竪穴建物4・土 坑8・ピット1、中世堀1
3	西部第一落合遺跡 群(7)	元総社町	市教委 前田和昭 村越純子	区画整理事業・ 568	令6.1.27～ 令6.2.25	古代～中世溝跡8・井戸1・ピット2、 FA下水田、FA下畠
4	推定上野国府	元総社町	市教委 池田史人 浅野孝利	学術調査・640	令6.6.10～ 令7.1.17	古墳竪穴建物10、古代竪穴建物2・井 戸2・溝2、中世溝2・土坑・ピット 多数
5	西部第一落合遺跡 群(6)	元総社町	技研コンサル(株) 佐野良平	区画整理事業・ 265	令6.7.10～ 令6.8.30	古墳溝1、古代～中世溝7・土坑3・ ピット3
6	箱田西稲荷境遺跡	箱田町	山下工業(株) 永井智教	道路築造・927	令6.7.22～ 令6.9.30	弥生末～古墳初頭水路1、古代水田
7	田口滝ノ前遺跡No. 2	田口町	技研コンサル(株) 茂木佑輔 曾根 裕	店舗建設・ 11,444	令6.4.26～ 令6.9.13	古墳竪穴建物1・水田、古代水田
8	前橋城(車橋門北地 点)	大手町	(株)シン技術コンサル 相澤正信	マンション建設・ 300	令6.5.27～ 令6.6.30	古代土坑3・溝4、中世～近代掘立柱 建物1・土坑6・ピット102・井戸5・ 溝1
9	総社植野堀之内遺 跡	総社町植野	パリノ・サーヴェイ(株) 高野和弘	宅地造成・2,171	令6.5.27～ 令6.9.20	古代竪穴建物11・竪穴状遺構4・井戸 3・溝3・土坑62・ピット84、中世以 降溝4・礎石4
10	高井桃ノ木IV遺跡	高井町	(株)毛野考古研究所 常深 尚	事務所、倉庫建 設・319	令6.9.9～ 令6.10.2	古代竪穴建物2・溝1、中世土坑・柱 穴
11	五反田Ⅲ遺跡	後家町・箱田 町	(株)毛野考古研究所 河野一也	宅地造成・766	令6.9.17～ 令6.10.15	古代水田、近代爆裂孔2
12	元総社芦田遺跡	元総社町	パリノ・サーヴェイ(株) 高野和弘	宅地造成・800	令6.10.7～ 令6.11.5	縄文遺物集中部1、弥生末～古墳初頭 竪穴建物1・ピット5、古代以降土坑 1・ピット5・溝7・流路跡3
13	亀里前田遺跡	亀里町	山下工業(株) 山口逸弘	工場建設・ 12,647	令7.1.20～ 調査中	古代水田・溝、中世～近代溝
1	高崎市 多胡碑周辺遺跡第 14次	吉井町池	市教委 櫻井 条 飯島克巳	範囲確認調査・ 219	令6.7.2～ 令7.2.25	古代区画溝・溝・ピット
2	上野国分尼寺跡第 7次	東国分町	市教委 田辺芳昭 金子智一 須永 忍	範囲確認調査・ 55	令6.11.15～ 令7.2.18	古墳竪穴建物1、古代竪穴建物3、中 世溝1
3	倉賀野浅間山古墳 第2次	倉賀野町	市教委 櫻井 条 飯島克巳	範囲確認調査・ 30	令6.7.1～ 令6.9.9	浅間山古墳外堀・中堤
4	北谷遺跡第2次	引間町	市教委 山本ジェームズ 藤守崇洋 清水智裕	保存整備・207.2	令6.9.4～ 令6.11.8	古墳竪穴建物2・柵列3・ピット列

番号	遺跡名	所在地	調査担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
5	しもたきさい た はら 下滝斎田原遺跡	下滝町	市教委 大野義人 矢島 浩 深澤みどり 秋元恵里子	工場建設・922	令6.4.1～ 令6.5.20	古墳竪穴建物14・掘立柱建物1・溝3、 古代竪穴建物2、中世溝1・土坑34・ ビット301
6	しも の じょう 下之城遺跡群第13 次	倉賀野町	市教委 須永 忍 櫻井 条 小野和之	土地区画整理事 業・618.67	令6.4.1～ 令7.2.25	古墳竪穴建物2、古代掘立柱建物1・ 溝3、中世井戸1
7	むなだか 棟高遺跡群第24次	棟高町	市教委 神戸聖語	土地区画整理事 業・1,000	令6.4.1～ 令7.3.31	古墳畠、古代畠・掘立柱建物2
8	しもたきさわがわい 下滝沢向遺跡第2 次	下滝町	市教委 南雲博文 清水智裕	市立特別支援学 校仮設校舎増設・ 19.45	令6.4.16～ 令6.4.24	弥生ピット1、中世溝1、近世～近代 溝2
9	しもたき 下滝遺跡群	下滝町	市教委 大野義人 関口拓海 矢島 浩 深澤みどり	産業団地造成事 業・1,026	令6.4.1～ 令7.3.25	古墳竪穴建物2、古代竪穴建物5・溝 18、中世溝1外
10	しほくよこ て ひ ぐち 宿横手樋口遺跡第 7次	宿横手町	市教委 矢島 浩 秋元恵里子	市道築造工事・ 40	令6.4.1～ 令7.3.24	古墳水田
11	とん や まちよんちよう め 問屋町四丁目遺跡 第2次	問屋町四丁目	市教委 須永 忍 櫻井 条	雨水貯留槽設置・ 104	令6.10.15～ 令6.10.30	中近世溝1
12	わか た むらまえ 若田村前遺跡第7 次	若田町	市教委 南雲博文 清水智裕	市道改良工事・ 80	令6.6.1～ 令6.9.2	古墳竪穴建物7・竪穴状遺構1、古代 竪穴建物1、中世以降土坑7、ビット 5
13	わか た おおみちがわし 若田大道東遺跡	若田町	市教委 滝沢 匡 矢島 浩	個人住宅建設・ 60	令6.9.17～ 令6.10.22	古墳竪穴建物4・道路状遺構1、古代 竪穴建物1
14	や わたうしろかんのん 八幡後観音遺跡第 6次	八幡町	市教委 櫻井 条 小野和之	個人住宅建設・ 177.1	令6.11.5～ 令6.12.12	古墳内堀・外堀・竪穴建物3・竪穴状 遺構1・土坑1、中近世土坑1
15	ほ ど た おしだし 保渡田押出遺跡第 3次	保渡田町	市教委 南雲博文 田村 孝	工場配管敷設・ 80	令7.1.14～ 令7.1.24	古代竪穴建物3・布掘り掘り方の柱列 5・溝3・土坑7・ビット7
16	うしやま 漆山古墳	下佐野町	市教委 櫻井 条 専修大学 高久健二 小林孝秀	学術研究・23.2	令6.8.19～ 令6.9.7	市史跡漆山古墳墳丘
17	わか た し みずくぼ 若田清水久保遺跡	若田町	(有)毛野考古学研究所 和久裕昭	防災ステーショ ン建設・167.5	令6.3.4～ 令6.4.4	古墳竪穴建物11・土坑4、古代竪穴建 物3・土坑1、近世以降溝1・土坑1
18	しほくおるいつか の こし 宿大類塚之越遺跡 第3次	宿大類町	山下工業(株) 永井智教	工場建設・ 26,517	令5.5.10～ 令6.8.5	縄文包含層、弥生水場遺構、古墳～古 代竪穴建物・溝・水田
19	しん ぼ つかごし 新保塚越遺跡	新保町	(株)測研 田中浩江	病院建設・1,375	令7.1.6～ 令7.2.14	古代水田・溝3、中近世土坑1・溝1・ 土塁1
20	かみなか い まえ や しき 上中居前屋敷遺跡 第5次	上中居町	(有)毛野考古学研究所 和久裕昭	集合住宅建設・ 174.12	令7.2.3～ 令7.2.28	中近世溝3・井戸2・土坑3・ビット 30、近代土坑2
21	なかおるいおき た 中大類沖田遺跡第 3次	中大類町	(有)高澤考古学研究所 澤田福宏	学校校舎建設・ 479.8	令7.2.10～ 令7.3.17	古代水田・溝3・土坑2、近世畑
22	ひ だかわらにし 日高村西遺跡	日高町	(有)高澤考古学研究所 山崎芳春	整地工事・1,565	令7.3.10～ 令7.3.31	中世城館土塁・堀
1	い い せ まき し 伊勢崎市 石山南遺跡・石山 南古墳群	下舐町	山下工業(株) 永井智教	倉庫建設・600	令6.5.9～ 令6.7.5	古墳1・埴輪窯1・竪穴建物4・粘土 採掘坑4・焼成遺構1
2	あかぬま 赤沼遺跡	北千木町	(有)高澤考古学研究所 石井克己	倉庫建設・200	令6.5.9～ 令6.6.15	古代以降溝16、古墳土坑1、古代以降 土坑14

番号	遺跡名	所在地	調査担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
3	上諏訪町遺跡	上諏訪町	山下工業(株) 山口逸弘	建売分譲地造成・111	令6.6.3～ 令6.6.29	古墳竪穴建物1・溝3、古代竪穴建物2、中世井戸1・ピット列
4	喜多町遺跡	喜多町	(有)毛野考古学研究所 浅間 陽 高橋清文 河野一也	区画整理・140	令6.6.10～ 令6.7.19	縄文土坑2、古墳竪穴建物3、古墳～古代溝5、中近世土坑3、ピット3
5	下武士・宮谷戸遺跡	境下武士	(有)高澤考古学研究所 山崎芳春	道路築造・620	令6.7.4～ 令6.9.20	中世溝3、時期不明土坑15、ピット2
6	稲荷廃寺跡・川上遺跡	下触町	市教委 早川隆弘	宅地造成・22	令6.7.22～ 令6.7.23	古代竪穴建物1
7	あづま道遺跡	国定町二丁目	市教委 早川隆弘	宅地造成・24	令6.10.15～ 令6.10.18	古墳～古代溝1
8	三軒屋遺跡	上植木本町	市教委 出浦 崇	内容確認・163	令6.10.28～ 令6.12.25	古代礎石建物2・掘立柱建物2、中世以降溝5・土坑4
9	伊勢崎城跡	曲輪町	山下工業(株) 永井智教	区画整理・280	令7.1.7～ 令7.2.21	中近世堀1・井戸3・墓1・土坑11、近現代建物基礎4・土坑6・溝2
10	史跡田島弥平旧宅	境島村	市教委 横澤真一	内容確認・21	令7.2.3～ 令7.3.25	近世～現代敷地内排水施設1・溝1・建物基礎1
1	太田市 F P泥流下遺跡群	亀岡町	市教委 長谷川幸男	道路改良工事・30	令6.4.30～ 令6.5.17	平安竪穴建物1、中世土坑1、近世土坑3、時期不明土坑2
2	東部地区遺跡群	阿久津町	(有)高澤考古学研究所 山崎芳春	区画整理事業・130	令6.10.1～ 令6.11.30	中世溝1・土坑51・ピット14
3	笠松遺跡	新田小金井町	山下工業(株) 山口逸弘	店舗建設・321	令6.11.1～ 令6.12.16	古代溝・井戸・ピット等
4	城ノ内遺跡	大島町	(有)毛野考古学研究所 伊藤順一	病院建設・1,700	令6.12.2～ 令7.3.26	古墳竪穴建物6・土坑3、中世掘立柱建物1・溝5・井戸3、時期不明竪穴建物6・土坑34・ピット100
1	沼田市 林ノ上遺跡・高野原遺跡・佐々木遺跡	横塚町	市教委 向出博之	産業団地整備・56,626	令6.4.1～ 令7.3.31	旧石器石器製作跡1・遺物集中ブロック2・炭化物集中地点7・礫群7、縄文土坑615、古墳円墳4・道跡2、古代竪穴建物26・掘立柱建物10、中世竪穴状遺構1、不明畝状遺構3・集石遺構10
1	渋川市 石原東遺跡A区	石原	市教委 高林真人	宅地造成工事・48	令7.1.27～ 令7.2.6	古代竪穴建物1
1	藤岡市 保美西浦遺跡	保美	市教委 齋藤直樹	農業基盤整備事業・10,850	令6.5.21～ 令7.1.9	古墳～平安竪穴建物130、平安製鉄炉7
2	上戸塚西原B遺跡	上戸塚	(有)高澤考古学研究所 澤田福宏	宅地造成・85.84	令6.5.27～ 令6.6.28	縄文土坑2、奈良平安竪穴建物5
3	小林塚原遺跡	小林	(有)毛野考古学研究所 志村 哲	宅地造成・334	令6.7.8～ 令6.11.27	古墳2・竪穴住居5・畑2
4	藤岡市226号古墳	小林	(有)毛野考古学研究所 高橋清文	道路拡幅・130	令7.1.27～ 令7.3.7	古墳周溝、平安溝2、中近世ピット18、不明土坑2
1	富岡市 史跡旧富岡製糸場	富岡	市教委 水田雅美 津金澤茂茂	学術調査・47	令6.5.1～ 令7.3.31	乾燥場・蒭扱場保存整備、煙突保存整備に伴う調査等
2	史跡中高瀬観音山遺跡	中高瀬ほか	市教委 清水 司	学術調査・20	令6.5.1～ 令7.3.31	中世天王塚裾部分、近世溝1、時代不明ピット2
3	富岡坪之内遺跡	富岡	市教委 笠原佳真	区画整理事業・100	令6.7.29～ 令6.9.30	古墳後期～古代住居5・土坑4・ピット10

番号	遺跡名	所在地	調査担当	原因・面積㎡	期間	主な内容
4	ていごうにいち T 021遺跡	上高尾	(株)シン技術コンサル 福岡正史 笠原仁史	鉄塔建設・450	令6.11.1～ 令7.2.28	縄文土坑1・不明遺構1・包含層、弥生住居6・土坑1・不明遺構1、古墳住居2・不明遺構1
1	あんなかし 安中市 まちきた 町北遺跡	安中二丁目	市みりよく創出部文 化財課 鳥居貴庸	庁舎建設工事・ 2,000	令6.4.15～ 令6.8.31	古代建物2・道路状遺構1・溝5・土坑150、中世土坑150
2	あんなかじょう 安中城V	安中三丁目	市みりよく創出部文 化財課 鳥居貴庸	市駐車場造成工 事・1,500	令7.1.6～ 令7.2.20	古代竪穴建物1、中世堀2、近世鍛冶炉3・堀1・石組排水路3・井戸1・石敷遺構1
1	し しみ みどり市 ト谷戸C遺跡	大間々町塩原	市教委 中村真生子	個人住宅・29	令6.4.17～ 令6.4.23	遺構なし
2	かさかけまちさいしかだ 笠懸町西鹿田地内	笠懸町西鹿田	市教委 萩谷千明	宅地造成・206	令6.5.24～ 令6.7.18	遺構なし
3	いわじやく 岩宿Ⅱ遺跡第7地 点	笠懸町阿左美	市教委 萩谷千明	宅地造成・67	令6.11.11～ 令6.12.18	時期不明柱穴4
4	いわじやく 岩宿Ⅱ遺跡第8地 点	笠懸町阿左美	市教委 萩谷千明	宅地造成・132	令7.3.7～ 令7.3.17	遺構なし
1	なかのじょうまち 中之条町 あまふちつせんしゆちようざう 東谷風穴蚕種貯蔵 じょうと 所跡	赤坂	町教委 田村公夫 堀口真太郎	史跡整備・15.1	令6.5.27～ 令6.12.13	明治末～昭和の中頃風穴、石積解体
1	ながの はらまち 長野原町 い や い いわかげ 居家以岩陰遺跡	長野原	國學院大學考古学研 究室 谷口康浩	学術調査・31	令6.8.8～ 令6.9.16	縄文土器・石器・人骨・獣骨
2	しまぎ 嶋木Ⅰ遺跡	長野原	町教委 富田孝彦	個人住宅・111	令6.10.1～ 令6.10.9	近世畑2・ヤックラ1・石垣1、近世陶磁器片
1	つまごいむら 婦恋村 かんばら 鎌原遺跡	鎌原	村教委 関 俊明	保存目的の確認・ 26.4	令6.5.7～ 令6.10.31	天明三年埋没延命寺域東限の確認・天明大笹温泉引湯道跡
1	うがつたままち 東吾妻町 せんなんくつじんじょうあと 仙人窟陣城跡	大戸	明治大学黒曜石研究 センター 栗島義明	学術調査・8	令6.11.27～ 令6.12.12	縄文草創期～前期、縄文土器・石器・剥片・動物骨など
1	たまむらまち 玉村町 おとつか オトカ塚Ⅱ遺跡	下茂木	町教委 永井亮多	道路改良工事・ 334	令6.8.1～ 令7.3.25	古墳1、中世以降溝2
1	おおいづみまち 大泉町 かわいり 川入遺跡	古氷	(株)毛野考古学研究所 志村 哲	集合住宅建設・ 2,300	令6.1.15～ 令6.4.26	旧石器、縄文、古墳前方後方墳1・方墳1、古代

2 令和6年度群馬県内整理事業一覧

番号	遺跡名	整理担当	整理期間	調査期間	遺跡の内容
1	前橋市 推定上野国府	市教委 池田史人 浅野孝利	令6.1.4～ 令7.3.28	令5.5.31～ 令5.12.28	古墳堅穴建物4、古代堅穴建物3・礎石 建物1・溝2、中世溝3
2	元総社蒼海遺跡群(150)	市教委 斎藤 颯 前田和昭 村越純子	令6.3.1～ 令6.12.27	令5.6.1～ 令6.2.14	縄文堅穴建物1、古墳堅穴建物21、古代 堅穴建物7・道路状遺構1、不明堅穴建 物2、古代～中世土坑47・ピット325・ 井戸跡5・溝跡18
3	茂木諏訪東遺跡No.2	市教委 前田和昭 村越純子 阿久澤友之	令6.9.17～ 令7.2.28	令6.9.2～ 令6.9.13	縄文土坑2、古墳堅穴建物3、古代堅穴 建物2、中世以降溝跡1
4	総社古墳群	市教委 福田貫之	令6.4.1～ 令7.3.17	令5.10.21～ 令5.11.30 令6.2.7～ 令6.2.9 令6.7.15～ 令7.6.19	古墳4
5	西部第一落合遺跡群(6)	技研コンサル(株) 佐野良平	令6.9.2～ 令7.1.31	令6.7.10～ 令6.8.30	古墳溝1、古代～中世の溝7・土坑3・ ピット3
6	箱田西稲荷境遺跡	山下工業(株) 永井智教	令6.10.1～ 令7.1.31	令6.7.22～ 令6.9.30	弥生末～古墳初頭水路1、古代水田
7	田口滝ノ前遺跡No.2	技研コンサル(株) 茂木佑輔 曾根 裕	令6.9.17～ 令7.1.31	令6.4.16～ 令6.9.13	古墳堅穴建物1・水田、古代水田
8	前橋城(車橋門北地点)	(株)シン技術コンサル 相澤正信	令6.7.1～ 令7.1.31	令6.5.27～ 令6.6.30	古代土坑3・溝4、中世～近代掘立柱建 物1・土坑6・ピット102・井戸5・溝 1
9	総社植野堀之内遺跡	バリノ・サーヴェイ(株) 高野和弘	令6.11.6～ 継続中	令6.5.27～ 令6.9.20	古代堅穴建物11・堅穴状遺構4・井戸3・ 溝3・土坑62・ピット84、中世以降溝4・ 礎石4
10	高井桃ノ木IV遺跡	(有)毛野考古学研究所 常深 尚	令6.10.3～ 令7.3.31	令6.9.9～ 令6.10.2	古代堅穴建物2、古代溝1、中世土坑・ 柱穴
11	五反田Ⅲ遺跡	(有)毛野考古学研究所 河野一也	令6.10.11～ 令6.11.20	令6.9.17～ 令6.10.15	古代水田、近代爆裂孔2
12	元総社芦田遺跡	バリノ・サーヴェイ(株) 高野和弘	令6.11.6～ 継続中	令6.10.7～ 令6.11.5	縄文遺物集中部1、弥生末～古墳初頭堅 穴建物1・ピット5、古代以降土坑1・ ピット5・溝7・流路跡3
13	池端東耕地遺跡	(有)毛野考古学研究所 宮田忠洋	令6.7.1～ 令7.3.7	令6.2.16～ 令6.3.29	古墳堅穴建物6、古代堅穴建物4・溝3・ 土坑3・ピット108
1	高崎市 菅谷大福寺遺跡	市教委 田辺芳昭 南雲芳昭	令6.4.1～ 令7.3.31	平15.5.27～ 平20.3.19	古代堅穴建物11・井戸・溝
2	菅谷紺屋貝戸遺跡	市教委 田辺芳昭 南雲芳昭	令6.4.1～ 令7.3.31	平12.5.22～ 平17.3.18	古墳堅穴建物3・水田、古代堅穴建物 10・井戸・溝
3	菅谷高畑遺跡	市教委 田辺芳昭 南雲芳昭	令6.4.1～ 令7.3.31	平12.5.22～ 平25.9.11	古墳水田、古代水田、中世堀
4	菅谷高貝戸遺跡	市教委 田辺芳昭 南雲芳昭	令6.4.1～ 令7.3.31	平12.5.22～ 平25.3.28	古墳水田、古代堅穴建物12・井戸・溝(推 定東山道北側溝)、中世溝
5	菅谷大房遺跡	市教委 田辺芳昭 南雲芳昭	令6.4.1～ 令7.3.31	平21.6.1～ 平22.1.13	中世井戸・溝
6	菅谷新田遺跡	市教委 田辺芳昭 南雲芳昭	令6.4.1～ 令7.3.31	平13.8.1～ 平29.3.31	古墳堅穴建物2・水田2、古代堅穴建物 6・溝・水田、中世溝・土坑
7	菅谷西宿遺跡	市教委 田辺芳昭 南雲芳昭	令6.4.1～ 令7.3.31	平25.4.11～ 平29.3.31	古代堅穴建物2・溝、中世以降溝・土坑
8	菅谷村前遺跡	市教委 田辺芳昭 南雲芳昭	令6.4.1～ 令7.3.31	平13.8.1～ 平29.3.31	古墳水田2、古代水田
9	しもたき 下滝遺跡群	市教委 大野義人 深澤みどり	令6.4.1～ 令7.3.31	平28.4.1～ 令6.3.29	古墳～古代堅穴建物、古墳周堀、古代掘 立柱建物、中世堀、中近世溝
10	若田金堀塚遺跡	市教委 南雲博文 田村 孝	令6.4.1～ 令7.3.7	平30.10.1～ 令2.3.31 令3.4.1～ 令5.8.30	弥生～古代堅穴建物、古墳、古代溝

番号	遺跡名	整理担当	整理期間	調査期間	遺跡の内容
11	なかとよおかるじかわ 中豊岡藤川遺跡	市教委 櫻井 条 金子智一	令6.4.1～ 令7.3.31	令4.1.24～ 令4.3.31 令4.4.1～ 令5.3.31 令5.7.3～ 令6.2.1	古墳～古代竪穴建物・礎石建物、古代水田・畠
12	い で 井出遺跡群	市教委 南雲博文 山本ジェームズ 田村 孝	令6.4.15～ 令7.3.31	平28.7.19～ 令3.10.5	弥生竪穴建物・水田、古墳竪穴建物・水田、古代竪穴建物・水田、中世掘立柱建物・堀・井戸
13	しもたきさわひ 下滝沢向遺跡第2次	市教委 清水智裕	令6.4.25～ 令7.3.31	令6.4.16～ 令6.4.24	弥生ピット1、中世溝1、近世溝2
14	あずまちよう 東町遺跡第8次	市教委 田村 孝 宮下昌文	令6.5.20～ 令7.3.31	令5.3.1～ 令5.7.26 令6.1.29～ 令6.3.16	古代水田、近代製糸場・工場跡
15	とん や まちよんちよう め 問屋町四丁目遺跡	市教委 櫻井 条 飯島克巳	令6.11.1～ 令7.3.28	令5.9.12～ 令5.11.2 令6.10.15～ 令6.10.30	中近世溝1
16	くら が の やく し まえ 倉賀野薬師前遺跡	(株)測研 田中浩江	令6.1.5～ 令6.4.28	令5.11.6～ 令5.12.22	古墳竪穴建物1、中世溝12・井戸1・竪穴建物4・掘立柱建物5・土坑40・柱穴223、近世土坑1
17	こ や ぎ ねらひがし 小八木村東遺跡第2次	(有)毛野考古学研究所 松本喜臣 宮本久子	令6.3.20～ 令6.8.30	令6.3.1～ 令6.3.19	古代水田、中近世以降土坑3
18	わかた し みずく ぼ 若田清水久保遺跡	(有)毛野考古学研究所 和久裕昭	令6.4.5～ 令6.9.30	令6.3.4～ 令6.4.4	古墳竪穴建物11・土坑4、古代竪穴建物3・土坑1、近世以降溝1・土坑1
19	しほくおるいつかの こし 宿大類塚之越遺跡第3次	山下工業(株) 永井智教	令6.8.6～ 継続中	令5.5.10～ 令6.8.5	縄文包含層、弥生水場遺構、古墳～古代竪穴建物・溝・水田
20	しん ぼ つかでし 新保塚越遺跡	(株)測研 田中浩江	令7.2.15～ 継続中	令7.1.6～ 令7.2.14	古代水田・溝3、中近世土坑1・溝1・土塁1
21	かみなか い まえ や しき 上中居前屋敷遺跡第5次	(有)毛野考古学研究所 和久裕昭	令7.3.3～ 継続中	令7.2.3～ 令7.2.28	中近世溝3・井戸2・土坑3・ピット30、近代土坑2
22	なかおるいおき た 中大類沖田遺跡第3次	(有)高澤考古学研究所 澤田福宏	令7.3.18～ 継続中	令7.2.10～ 令7.3.17	古代水田・溝3・土坑2、近世畑
1	きりゆう し 桐生市 みしまだい 三島台遺跡	市教委 新井雅幸 薄井 聡	令6.4.1～ 令7.3.28	令5.4.10～ 令5.4.28	縄文竪穴住居1、土壇4、ピット数十、古代竪穴住居4、時代不明土壇2
2	につかわ 新川-14遺跡	市教委 加部二生	令6.4.1～ 令7.3.28	令5.4.20～ 令5.6.30	中・近世炭窯1
3	なかざとうし 中里後遺跡	市教委 新井雅幸 薄井 聡	令6.4.1～ 令7.3.28	令5.7.25～ 令5.8.2	縄文中期土壇12、古墳～平安竪穴住居5、時代不明ムロ状遺構3・ピット38
4	やまかみ 山上-28遺跡	市教委 加部二生	令6.4.1～ 令7.3.28	令5.12.4～ 令6.2.29	中・近世土塁遺構
1	い せ せき し 伊勢崎市 やっざか 八坂遺跡	山下工業(株) 永井智教	令6.4.1～ 令6.10.31	令5.12.25～ 令6.2.29	縄文包含層・土坑8・集石土坑1、古墳竪穴建物1・周溝墓3・古墳周溝2、近世以降土坑18・溝1・集石遺構2・道路状遺構1
2	あかぬま 赤沼遺跡	(有)高澤考古学研究所 石井克己	令6.6.17～ 令7.3.31	令6.5.9～ 令6.6.15	古墳土坑1、古代以降溝16・土坑14
3	かみ す わちよう 上諏訪町遺跡	山下工業(株) 山口逸弘	令6.7.6～ 令7.1.20	令6.6.1～ 令6.6.29	古墳竪穴建物1・溝3、古代竪穴建物2、中世井戸1・ピット列
4	いしやまみなみ いしやまみなみ 石山南遺跡・石山南古墳群	山下工業(株) 永井智教	令6.7.8～ 令7.3.31	令6.5.9～ 令6.7.5	古墳1・埴輪窯1・竪穴建物4・粘土採掘坑4・焼成遺構1
5	きた まち 喜多町遺跡	(有)毛野考古学研究所 浅間 陽	令6.9.1～ 令7.3.14	令5.11.9～ 令6.3.23 令6.6.10～ 令6.7.19	縄文土坑4、古墳竪穴建物3・土坑2、古墳～古代溝21・土坑3、古代水田跡、中近世土坑3、近現代土坑15、ピット33
6	しもたけ し みやがい と 下武士・宮谷戸遺跡	(有)高澤考古学研究所 山崎芳春	令6.11.5～ 令7.3.21	令6.7.4～ 令6.9.20	中世溝3、時期不明土坑15、ピット2

番号	遺跡名	整理担当	整理期間	調査期間	遺跡の内容
7	三軒屋遺跡 さんげんや ごまがた	市教委 出浦 崇	令7.1.6～ 令7.3.21	平30.10.31～ 平31.1.16 令元.11.11～ 令2.1.18 令2.12.1～ 令3.1.15 令3.6.13～ 令3.6.22 令3.9.6～ 令3.9.10 令3.10.20～ 令3.12.24	古代掘立柱建物7・溝4・土坑5、中世以降溝1・土坑25、井戸2
1	太田市 駒形神社埴輪窯跡 おまたし こまがた	市教委 岩井直人	令6.4.1～ 令7.3.31	昭62.4.5～ 昭62.7.8	古埴輪窯
2	世良田館跡 せらだやのあと	市教委 岩井直人	令6.4.1～ 令7.3.31	平2.4.9～ 平6.4.2	堀・掘立柱建物
3	世良田陣屋遺跡 せらだじんや	市教委 岩井直人	令6.4.1～ 令7.3.31	平15.2.10～ 平15.3.31	堀、溝、掘立柱建物等
4	太田市内遺跡 おまたしな	市教委 長谷川幸男	令6.4.1～ 令7.3.31	令5.4.1～ 令6.3.31	太田市内遺跡
5	東部地区遺跡群 とうぶちく	(有)高澤考古学研究所 山崎芳春	令6.12.1～ 令7.3.31	令6.10.1～ 令6.11.30	中世溝1・土坑51・ピット14
1	沼田市 沼田城跡 ぬまたし ぬまたじょうあと	市教委 永井三郎	令6.4.1～ 令7.3.31	令元.11.5～ 令4.9.22	中近世整地層・堀
2	土塔原遺跡 どつばら	市教委 永井三郎	令6.4.1～ 令7.3.31	昭58.1.10～ 昭58.1.20	平安堅穴建物5
1	館林市 岡野・屋敷前・岡遺跡 たてばやし おかの や しきまえ おか	市教委 奈良純一	令6.6.4～ 令6.6.19 令7.1.14～ 令7.1.31	令5.4.25～ 令5.5.12	土坑14・溝10
2	館林城跡・城下町・加法師遺跡 たてばやしじょう じょうかまち かぼうし	市教委 奈良純一	令6.6.4～ 令6.6.19 令7.1.14～ 令7.1.31	令5.7.24～ 令5.8.7	住居1・土坑1・溝2
3	小林遺跡 こばやし	市教委 奈良純一	令6.6.4～ 令6.6.19 令7.1.14～ 令7.1.31	令5.11.8～ 令5.11.24	住居6・土坑11・溝15
4	岡野・屋敷前・岡遺跡 おかの や しきまえ おか	市教委 奈良純一	令6.6.4～ 令6.6.19 令7.1.14～ 令7.1.31	令6.2.5～ 令6.2.19	住居2・土坑2・溝2
1	渋川市 八幡神社遺跡 しぶかわし はちまんじんじや	市教委 小林良光	令6.4.1～ 令7.3.31	平3.12.10～ 平4.3.31	古墳集落
1	藤岡市 小林塚原遺跡 ふじおかし こばやしつかはら	(有)毛野考古学研究所 志村 哲	令6.12.23～ 令7.3.31	令6.7.8～ 令6.11.27	古墳2・堅穴住居5・畑2
1	富岡市 史跡旧富岡製糸場 とみおかし しせききゅうとみおかせいしじょう	市教委 水田雅美 永井尚寿	令6.4.1～ 令7.3.31	平25.4.1～ 令6.3.31	近現代 西置繭所周囲・旧研究所跡・水溜跡・工女寄宿舎跡・病室跡・候門所跡・煉瓦造排水溝・土管・溝跡・便所15周囲便槽外部・診療所北建物跡・囲炉裏跡・煉瓦組燃焼施設・煉瓦組便槽・コンクリート便槽・乾燥場・繭扱場・レール・軌道跡・廃棄土坑・煙突
2	一ノ宮長坂遺跡 いちのみやながさか	市教委 岡田侑子 清水 司	令6.4.1～ 令7.3.31	令1.5.30～ 令1.10.31	古墳住居6、古代住居54・掘立柱建物1・礎石3・基壇1・石敷1
3	一ノ宮西丹生森遺跡 いちのみやにしにゅうもり	市教委 岡田侑子 寺村賢人	令6.4.1～ 令7.3.31	令2.6.1～ 令3.3.19	古墳住居48、古代住居52、掘立柱建物4、井戸4、溝6、土坑135、埋設土器2

番号	遺跡名	整理担当	整理期間	調査期間	遺跡の内容
4	いちのみやすわ 一ノ宮諏訪遺跡	市教委 岡田侑子 笠原佳真	令6.4.1～ 令7.3.31	令2.9.23～ 令3.3.19	縄文住居1・土坑8、弥生土坑2、古墳 ～古代住居45・土坑2、中世溝4、時期 不明土坑21、井戸6
5	いちのみや01にゅうもり 一ノ宮東丹生森遺跡	市教委 岡田侑子 寺村賢人	令6.4.1～ 令7.3.31	令1.11.1～ 令2.3.31 令3.6.6～ 令4.3.31	弥生後期～古墳住居139・溝状遺構14・ 井戸4・土坑35・ピット134・窪地2・ 焼土2・遺物集中2
1	あんなかし 安中市 加賀塚遺跡	市みりよく創出部文化財 課 関根史比古	令6.4.1～ 令7.3.17	令3.8.2～ 令4.2.28	縄文竪穴建物1、弥生竪穴建物11、古墳 ～古代竪穴建物38、溝1、土坑18
2	まちきた 町北遺跡	市みりよく創出部文化財 課 鳥居貴庸	令6.4.1～ 令7.3.31	令6.4.1～ 令6.8.31	古代建物2・道路状遺構1・溝5・土坑 150、中世土坑150
1	みどり市 天神遺跡	市教委 萩谷千明	令6.4.1～ 令7.3.31	令2.3.4～ 令2.5.29 令2.8.19～ 令2.12.6	縄文土坑14、古代竪穴建物22・掘立柱建 物1・井戸2・竪穴状遺構1、近世溝状 遺構2、縄文石器片、古代土器片
2	うえのしきくのなか 上ノ宿野中遺跡第2地点他	市教委 萩谷千明	令6.4.1～ 令7.2.28	令5.4.12～ 令5.4.27	縄文中期後葉住居1・土坑1・縄文土器 片
3	みさわ 見沢Ⅰ遺跡第1地点	市教委 萩谷千明	令6.4.1～ 令7.2.28	令5.9.13～ 令5.9.27	縄文土器片・石器
4	しもがいと 下谷戸C遺跡	市教委 中村真生子	令6.4.23～ 令6.6.7	令6.4.17～ 令6.4.23	縄文土器片、近世陶器片
5	いわじやく 岩宿Ⅱ遺跡第7地点	市教委 萩谷千明	令6.12.18～ 令7.2.12	令6.11.11～ 令6.12.18	縄文後期土器片、旧石器石器片
1	つまごいむら 碓氷村 鎌原遺跡	村教委 関 俊明	令6.4.1～ 令7.3.21	令6.5.7～ 令6.10.31	天明三年埋没延命寺域東限の確認・天明 大笹温泉引湯道跡
1	おおいずみまち 大泉町 川入遺跡	(有)毛野考古学研究所 志村 哲	令6.4.30～ 令7.3.31	令6.1.15～ 令6.4.26	旧石器、縄文、古墳前方後方墳1・方墳 1、古代

3 令和6年度群馬県内発掘調査報告書一覧

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
1	群馬県地域創生部文化財保護課 群馬県公共開発事業に伴う令和5年度 県内遺跡発掘調査報告書	県内遺跡	試掘・確認調査	令和7.3.7
1	群馬県埋蔵文化財調査事業団 厚田橋詰遺跡	同左	縄文～平安土坑3・ピット8、中近世掘立柱建物1・ 土壇墓1・土坑26・ピット55・溝1・集石1・畑1	令和6.8.26
2	西上之宮遺跡(1)―中世墓編―	同左	墓・火葬施設ほか	令和7.3.18
3	倉賀野下樋越遺跡	同左	平安竪穴建物3・溝5・井戸1・土坑3・ピット 29、中近世溝1・ピット2	令和6.8.14
4	堀之内北遺跡	同左	中近世ピット2・田畑、平安水田	令和6.10.28
5	池ノ沢遺跡	同左	縄文竪穴建物1・土坑12・ピット36、古墳～平安竪 穴建物6・ピット24、中世土坑13(含土壇墓1)・ピッ ト86・溝1、土坑1・ピット1・集石1	令和6.10.28
6	今井北原遺跡・中堀東遺跡	同左	〈今井北原〉古墳竪穴建物21・竪穴状遺構2・土坑 37・ピット6、中近世溝17・土坑170・ピット171〈中 堀東〉古墳水田30・溝3・土坑3・ピット6、古代 水田54・溝3・土坑3・ピット2、中近世溝10・畑1・ 土坑18・ピット2	令和7.3.15
7	八幡原遺跡	同左	縄文土坑8・ピット3・溝1、弥生土坑10・ピット1、 古墳竪穴建物8・ピット2、古代・中世土坑3・ピッ ト4・溝1	令和6.11.22
8	柳田遺跡	同左	旧石器石器群3、縄文埋甕1・落とし穴3・溝1・ 土坑17、古墳竪穴建物92・竪穴状遺構5・溝34・堀1・ 杭列5・井戸4・土坑88・集石1・開削遺構10・盛 土遺構2・ピット7・遺物集中3、飛鳥～平安竪穴 建物28・掘立柱建物4・柵1・溝21・井戸8・土坑 59・集石2・ピット2、中世以降掘立柱建物1・地 下式土坑3・溝14・井戸3・土坑60、時期不明焼土1・ ピット505	令和7.3.26
9	浜町古墳群(2)・浜町遺跡(3)	同左	〈浜町古墳群〉古墳竪穴建物3・溝2・土坑7、古代 竪穴建物6・溝3・土坑1・ピット1、中近世溝5・ ピット2、時期不明土坑5・ピット5〈浜町〉古墳溝 2、古代竪穴建物8・溝3・土坑24・ピット38、中 近世溝2・井戸1・土坑2、時期不明竪穴状遺構1・ 溝2・土坑11・ピット21	令和6.12.25
10	小泉天神西遺跡	同左	縄文竪穴建物1・土坑19・ピット4、古墳竪穴建物 1・土坑1・ピット5、飛鳥～平安竪穴建物17・竪 穴状遺構2・土坑3・ピット10、中近世掘立柱建物 12・柵3・溝1・畑3・土坑47・ピット149	令和7.3.17
11	下黒岩原遺跡	同左	平安～中世竪穴状遺構1・土坑3・耕作痕群1、近 世土坑11・溝6	令和7.2.25
12	天竜遺跡	同左	古墳竪穴建物13・竪穴遺構1・溝1・土坑4、飛鳥 竪穴建物11、奈良竪穴建物1、平安竪穴建物9、年 代不明竪穴建物3・竪穴遺構1、奈良平安掘立柱建 物3・窪地1・溝25・土坑54、中近世屋敷1・畑1・ 溝3・土坑47、古墳～近世ピット91	令和7.3.21
1	前橋市 推定上野国府	同左	古墳竪穴建物4、古代竪穴建物3・礎石建物1・溝2、 中世溝3	令和7.3.28
2	元総社蒼海遺跡群(150)	同左	縄文竪穴建物1、古墳竪穴建物21、古代竪穴建物7、 不明竪穴建物2、古代道路状遺構1、古代～中世土 坑47、ピット325、井戸跡5、溝跡18	令和6.12.27
3	茂木諏訪東遺跡No.2	同左	縄文土坑2、古墳竪穴建物3、古代竪穴建物2、中 世以降溝跡1	令和7.2.28
4	総社古墳群範囲内容確認調査報告書Ⅲ	愛宕山古墳、総社二子山 古墳、宝塔山古墳、蛇穴 山古墳	古墳4	令和7.3.21

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
5	西部第一落合遺跡群(6)	同左	古墳溝1、古代～中世の溝7・土坑3・ピット3	令7.1.31
6	箱田西稲荷境遺跡	同左	弥生末～古墳初頭の水路1、古代水田	令7.3.8
7	田口滝ノ前遺跡No.2	同左	古墳竪穴建物1・水田、古代水田、	令7.1.31
8	前橋城(車橋門北地点)	同左	古代土坑3・溝4、中世～近代掘立柱建物1・土坑6・ピット102・井戸5・溝1	令7.1.31
9	高井桃ノ木IV遺跡	同左	古代竪穴建物2、古代溝1、中世土坑・柱穴	令7.3.31
10	五反田Ⅲ遺跡	同左	古代水田、近代爆裂孔2	令6.12.20
11	池端東耕地遺跡	同左	古墳竪穴建物6、古代竪穴建物4・溝3・土坑3・ピット108	令7.3.7
1	高崎市 倉賀野薬師前遺跡	同左	古墳竪穴住居1、中世溝12・井戸1・竪穴建物4・掘立柱建物5・土坑40・柱穴223、近世土坑1	令6.5.21
2	小八木村東遺跡2	同左	古代水田、中近世以降土坑3	令6.8.30
3	若田清水久保遺跡	同左	古墳竪穴建物11・土坑4、古代竪穴建物3・土坑1、近世以降溝1・土坑1	令6.9.30
4	東町遺跡8	同左	古代水田、近代製糸場・工場跡	令7.3.31
5	間屋町四丁目遺跡	同左	中近世溝1	令7.3.28
6	下滝沢向遺跡2	同左	弥生ピット1、中世溝1、近世溝2	令7.3.31
7	高崎市遺跡分布地図―市内遺跡詳細分布調査報告書―		高崎市内遺跡詳細分布調査	令7.3.28
8	菅谷遺跡群4	菅谷大福寺遺跡、菅谷紺屋貝戸遺跡、菅谷高貝戸遺跡、菅谷高畑遺跡、菅谷大房遺跡、菅谷新田遺跡、菅谷西宿遺跡、菅谷村前遺跡	＜菅谷大福寺＞古代竪穴建物11・井戸・溝、＜菅谷紺屋貝戸＞古墳竪穴建物3・水田、古代竪穴建物10・井戸・溝、＜菅谷高畑＞古墳水田、古代水田、中世堀、＜菅谷高貝戸＞古墳水田、古代竪穴建物12・井戸・溝(推定東山道北側溝)、中世溝、＜菅谷大房＞中世井戸・溝、＜菅谷新田＞古墳竪穴建物2・水田2、古代竪穴建物6・溝・水田、中世溝・土坑、＜菅谷西宿＞古代竪穴建物2・溝、中世以降溝・土坑、＜菅谷村前＞古墳水田2、古代水田	令7.3.28
9	令和6年度市内遺跡 試掘・確認調査・緊急発掘調査報告書		令和6年度試掘・確認調査・緊急発掘調査報告書	令7.3.31
1	伊勢崎市 八坂遺跡4	八坂遺跡	縄文包含層・土坑8・集石土坑1、古墳竪穴建物1・周溝墓3・古墳周溝2、近世以降土坑18・溝1・集石遺構2・道路状遺構1	令6.9.30
2	上諏訪町遺跡	同左	古墳竪穴建物1・溝3、古代竪穴建物2、中世井戸1・ピット列	令7.1.20
3	令和4年度市内遺跡確認調査報告書	女堀上遺跡外40遺跡	確認調査	令7.1.31
4	喜多町遺跡7・8	喜多町遺跡	縄文土坑4、古墳竪穴建物3・土坑2、古墳～古代溝21・土坑3、古代水田跡、中近世土坑3、近現代土坑15、ピット33	令7.3.14
5	下武士・宮谷戸遺跡2	下武士・宮谷戸遺跡	中世溝3、時期不明土坑15、ピット2	令7.3.21
6	三軒屋遺跡7	三軒屋遺跡	古代掘立柱建物7・溝4・土坑5、中世以降溝1・土坑25、井戸2	令7.3.21
1	太田市 反丸遺跡	同左	古墳時代あるいは中世竪穴建物跡418、掘立柱建物跡29、竪穴状遺構5、土坑666、火葬跡10、溝跡31、土器集積3、ピット3286	令6.3.25
2	市内遺跡―令和5年度調査―	市内遺跡	太田市内遺跡56箇所の確認調査報告	令7.3.14

番号	報告書名	遺跡名	内容	発行年月日
3	とうぶちく 東部地区遺跡群	同左	中世溝1・土坑50・ピット14	令7.3.31
1	ぬまたし 沼田市 林ノ上遺跡・高野原遺跡・佐々木遺跡2	林ノ上遺跡・高野原遺跡・佐々木遺跡	縄文土坑16・ピット29、縄文～古墳ピット7、古墳道跡1	令6.9.30
2	林ノ上遺跡・高野原遺跡・佐々木遺跡3	林ノ上遺跡・高野原遺跡・佐々木遺跡	縄文土坑21、縄文以降33、古墳不明遺構1	令6.9.30
3	林ノ上遺跡・高野原遺跡・佐々木遺跡4	林ノ上遺跡・高野原遺跡・佐々木遺跡	旧石器ブロック4・土坑3、縄文竪穴建物1・土坑64・ピット3、古墳竪穴建物4・古墳2、古代竪穴建物1・土坑1、近現代土坑10	令7.2.28
4	ぬまたじょうあと 沼田城跡 調査総括報告書	沼田城跡	中近世整地層・堀跡	令7.3.31
5	どとつばら 土塔原遺跡	同左	平安竪穴建物5	令7.3.31
1	たてばし 館林市 館林市内遺跡発掘調査報告書	岡野・屋敷前・岡遺跡、館林城跡・城下町・加法師遺跡、小林遺跡、岡野・屋敷前・岡遺跡	〈岡野・屋敷前・岡〉土坑14・溝10 〈館林城跡・城下町・加法師〉古墳住居址1・近代以降土坑1・古墳以前溝1、溝1〈小林〉住居址6・溝16・土坑11 〈岡野・屋敷前・岡〉古墳～平安住居址2・溝2条・土坑2	令7.3.20
1	しぶかわし 渋川市 渋川市市内遺跡18	群馬用水分郷八崎遺跡 白井遺跡群 八木原城跡 有馬条里跡 中村岡前遺跡 裏久保遺跡 半田築地前遺跡 半田薬師遺跡群 K0111遺跡 石原東遺跡A区 宮田諏訪原遺跡 宮廻遺跡2	令和5年度市内遺跡範囲確認調査・試掘調査・工事立会	令7.3.14
2	みなみおつか 南大塚遺跡	同左	弥生土壇3	令7.3.31
1	ふじおかし 藤岡市 A26 小林塚原遺跡(市274号古墳・市275号古墳)	小林塚原遺跡	古墳2・竪穴住居5・畑2	令7.3.31
2	しな い 市内遺跡31		令和6年度市内開発に伴う試掘確認調査	令7.3.14
1	とみおかし 富岡市 宇田・一ノ宮地区遺跡群Ⅲ 一ノ宮諏訪遺跡発掘調査報告書	一ノ宮諏訪遺跡	縄文住居1・土坑8、弥生土坑2、古墳～古代住居45・土坑2、中世溝4、時期不明土坑21・井戸6	令7.3.31
1	あんなかし 安中市 加賀塚遺跡3	加賀塚遺跡	縄文竪穴建物1、弥生竪穴建物11、古墳～古代竪穴建物38・溝1・土坑18	令7.3.17
1	みどり市 市内遺跡14	上ノ宿野中遺跡第2地点、見沢I遺跡第1地点、北山遺跡第13地点	縄文中期後葉住居1・土坑1・縄文土器片・石器、古代柱穴27	令7.3.25
1	しもよ 下仁田町 荒船風穴蚕種貯蔵所跡 調査報告書15	荒船風穴蚕種貯蔵所跡・春秋館跡	2024年度実施事業、各種観測結果	令7.3.31
1	なかのじょうまち 中之条町 東谷風穴蚕種貯蔵所跡 調査報告書7	東谷風穴蚕種貯蔵所跡	明治末～昭和頃風穴、石積解体	令7.3.25
1	ながの 長野原町 町内遺跡24	羽根尾字羽根尾、北軽井沢字大屋原、長野原字坪井	遺構なし	令7.2.10
1	おおいづみまち 大泉町 仙石専光寺付近遺跡	同左	旧石器、縄文、古墳～中・近世竪穴住居516・古墳23・土坑243・掘立柱建物4・井戸92・溝112・竪穴状遺構4・円形周溝遺構1	令7.3.17
2	かわいり 川入遺跡(古氷古墳群5号墳・9号墳)	同左	旧石器、縄文、古墳前方後方墳1・方墳1、古代	令7.3.31

4 令和6年度群馬県内発掘調査現地説明会・関連行事など一覧

番号	遺跡名・行事名	場所	実施年月日	主催・共催	内容	見学者数
1	前橋市 座繰り・桑の木クラフト 体験	前橋市蚕糸記念館	令6.5.11、 5.18、10.20、 10.26	市教委	座繰り体験、繭、桑の木でキーホルダー 作成	261
2	新出土文化財展	臨江閣	令6.10.29～ 令6.11.10	市教委	令和5年度実施調査の速報展示	2,851
3	前橋・高崎連携事業文化 財展	前橋市総社歴史資 料館(前橋会場)	令7.1.25～ 令7.2.9	前橋市教委・ 高崎市教委	「逸品」をテーマに両市所有の文化財を展 示	753
1	高崎市 史跡箕輪城跡整備工事成 果説明会	史跡箕輪城跡	令6.5.18	市教委	本丸西虎口の石垣、暗渠等整備の状況説 明	200
2	上野国分尼寺跡 国指定 答申記念講演会	高崎市市民活動セ ンター・ソシアス	令6.8.24	市教委	発掘調査成果報告および遺物展示	171
3	漆山古墳現地説明会	漆山古墳	令6.8.31	専修大学・市教 委	古墳概要、発掘調査成果の説明	38
4	北谷遺跡発掘調査報告会	高崎市市民活動セ ンター・ソシアス	令6.11.17	市教委	令和6年度発掘調査の成果報告	143
5	倉賀野浅間山古墳遺跡説 明会	高崎市中央公民館 集会ホール	令6.11.24	市教委	令和6年度発掘調査成果報告、遺物およ び写真パネル展示	155
6	多胡碑周辺遺跡発掘調査 成果展	多胡碑記念館ホー ル	令6.11.9～ 令6.12.22	市教委	発掘調査成果について公開	—
7	前橋・高崎連携事業文化 財展(高崎会場)	高崎シティーギャ ラリー	令7.1.11～ 令7.1.19	市教委	令和6年度展示テーマ「東国千年の都『逸 品 よく見りゃスゴい!』」	700
1	伊勢崎市 パネル展—宮柴前遺跡—	市清掃リサイクル センター 21	令6.4.1～ 令7.3.31	市教委	天明3年の浅間山大噴火により埋没した 水田、畑、水路、人の足跡等の写真パネ ルを展示	—
2	埋蔵文化財パネル展「伊 勢崎市の埴輪」	伊勢崎市図書館	令6.10.12～ 令6.11.10	市教委	伊勢崎市出土の埴輪のパネルを展示	—
3	埋蔵文化財パネル展「伊 勢崎市の埴輪」	いせさきガーデン ズ行政センター	令6.11.18～ 令6.12.20	市教委	伊勢崎市出土の埴輪のパネルを展示	2,078
4	埋蔵文化財パネル展「伊 勢崎市の埴輪」	赤堀歴史民俗資料 館	令7.1.11～ 令7.2.2	市教委	伊勢崎市出土の埴輪のパネルを展示	196
1	太田市 埋蔵文化財最新情報展 「ここにもこふん」	太田市立史跡金山 城跡ガイダンス施 設2階ギャラリー	令7.1.25～ 令7.3.23	市教委	市内古墳出土の埴輪等の展示	4,963
1	沼田市 沼田横塚産業団地埋蔵文 化財発掘調査現地説明会	沼田横塚産業団地 発掘調査区(沼田 市横塚町)	令6.6.29	市教委	A3地区の発掘調査の状況を見学(平安時 代集落)	219
2	埋蔵文化財調査センター 施設見学会	沼田市埋蔵文化財 調査センター	令7.3.16	市教委	施設見学、接合体験、拓本体験	39
1	渋川市 夏休み子ども文化財教室	渋川市埋蔵文化財 センター	令6.7.22～ 令6.7.27	市教委	縄文土器の紋様のプレスレットづくり	328
1	藤岡市 講座「四角い古墳を丸い 古墳に造りかえる～群馬 県南部の藤岡・玉村地区 に集中する事象～」	藤岡歴史館	令6.4.13	市教委	春季企画展関連事業として前原豊氏によ る講演会を実施	59
2	夏季企画展「文化をつな ぐ渚の道—発掘調査が語 るはくいの歴史—」	藤岡歴史館	令6.7.27～ 令6.9.23	市教委	寺家遺跡など姉妹都市・石川県羽咋市出 土資料を展示	1,549
3	講座「羽咋の歴史と文化 ～祈りの歴史から考える ～」	藤岡歴史館	令6.8.10	市教委	夏季企画展関連事業として羽咋市教委文 化財課の中野知幸氏による講演会を実施	40
4	保美西浦遺跡C地点発掘 調査現地説明会	保美西浦C地点	令6.8.18	市教委	平安時代の製鉄炉跡など保美地区遺跡群 発掘調査の現地説明会	129
5	白石稲荷山古墳現地説明 会	白石稲荷山古墳	令7.3.2	市教委	白石稲荷山古墳確認調査の現地説明会	138

番号	遺跡名・行事名	場所	実施年月日	主催・共催	内容	見学者数
6	春季企画展「ムラと歩んだ古代の寺―牛田廃寺跡の時代―」	藤岡歴史館	令7.3.8～ 令7.5.25	市教委	牛田廃寺跡ほか市内・近郷の古代寺院跡の資料を展示	2,939
7	地域研究会「藤岡の歴史的特性を再認識する」	藤岡市総合学習センター	令7.3.9	主催：群馬県地域文化研究協議会 共催：市教委・共愛学園前橋国際大学	春季企画展関連事業として、牛田廃寺と浄法寺、高山社に関する講演・研究報告会を実施	80
1	^{とみおかし} 富岡市 宮崎公園つつじ祭り プレミアムデー	宮崎公園	令6.4.20	市教委	宮崎公園内のつつじ解説、旧茂木住宅解説、地本物産品及び地元実業高校の花苗販売	800
2	富岡製糸場発掘調査現地説明会	富岡製糸場	令6.8.25	市教委	乾燥場・繭扱場・煙突の調査や保存修理工事の解説	66
3	中高瀬観音山遺跡ワークショップ	中高瀬観音山遺跡	令6.10.26	市教委	中高瀬観音山遺跡の解説、火起こし・弓打ち・発掘体験	34
4	近代化遺産一斉公開	社会教育館・旧一ノ宮町役場・北甘変電所	令6.11.23	市教委	近代化遺産の公開及び見学、スタンプラリー	133
5	富岡市内出土品展	富岡市立美術博物館	令7.2.14～ 令7.2.24	市教委	令和6年度の市内の発掘調査及び整理作業の速報展、各種チャレンジコーナー	1,006
6	妙義神社保存修理現地説明会	妙義神社	令7.3.20	妙義神社・市教委	妙義神社本殿透塀修理工事の説明、現地見学	40
1	^{あんなかし} 安中市 遺跡報告会「発掘された安中の遺跡」	安中市学習の森ふるさと学習館	令6.9.1	安中市	遺跡報告会(発掘調査速報展の関連行事)	38
2	文化財現地見学ツアー 原市地区の文化財をめぐる	安中市築瀬・原市	令6.11.24	安中市	史跡築瀬二子塚古墳を中心とした文化財見学ツアー	10
1	^し みどり市 みどり市の歴史と文化財	岩宿博物館企画展示室	令6.4.27～ 令6.7.15	市教委(岩宿博物館)	岩宿時代から近代までの市内に所在する遺跡の出土品を展示	4,670
2	岩宿人のくらしをさぐる	岩宿博物館企画展示室	令6.7.27～ 令6.9.23	市教委(岩宿博物館)	石器やその他の道具を復元し、使い方や実際のくらしの様子をわかりやすく展示	3,904
3	第80回企画展「岩澤正作―カケラ先生と呼ばれた考古学者―」	岩宿博物館企画展示室	令6.10.5～ 令6.11.24	市教委(岩宿博物館)	みどり市と深いゆかりのある博物学者・考古学者、岩澤正作を紹介	3,260
4	第81回企画展「縄文時代の始まりと洞窟遺跡」	岩宿博物館企画展示室	令7.1.25～ 令7.3.9	市教委(岩宿博物館)	洞窟遺跡に関連した資料を中心に、岩宿時代の終わりと縄文時代の始まりについて展示	1,565
1	^{しんとうむら} 榛東村 夏休みわくわくワークショップ	榛東村耳飾り館	令6.7.26～ 令6.8.21	榛東村耳飾り館	勾玉づくり、縄文風ポシェット作り等の体験学習	52
2	長久保古墳群活用事業講演会『知ろう！探ろう！古墳時代の榛東村～長久保古墳群の調査を通して～』	南部コミュニティセンター	令6.10.5	村教委・駒澤大学(駒澤大学令和6年度駒大生社会連携プロジェクトの助成を受けて実施)	駒澤大学文学部歴史学科考古学専攻の教授や学生達による講演会を開催 併せて令6.9.14～11.30の期間、耳飾り館にて講演会関連展示(長久保古墳群出土品展示)を開催	85
3	行田古墳フェスティバル	埼玉県立 さきたま古墳公園内 観光物産館「さきたまテラス」周辺	令6.10.20	行田古墳フェスティバル実行委員会	ブース出展：縄文体験衣装の展示、長久保古墳パンフレットの配布	—
4	秋冬ワークショップ	榛東村耳飾り館	令6.11.9～ 令6.12.26	榛東村耳飾り館	勾玉づくり、縄文風ポシェット作り等の体験学習	30
5	縄文ワークショップ	榛東村耳飾り館	令6.11.23	榛東村耳飾り館	黒曜石の鑑づくり	31
6	MiMiFES	榛東村耳飾り館	令7.1.26	MiMiFES実行委員会・榛東村・榛東村耳飾り館・榛東村商工会	勾玉づくり、縄文耳飾り作り等のワークショップ	25

番号	遺跡名・行事名	場所	実施年月日	主催・共催	内容	見学者数
1	としおがまち 吉岡町 夏休みときめき講座2024 「ミニ円筒ハニワづくり 体験」	吉岡町教育委員会 文化財センター	令6.8.7	町教委	円筒ハニワづくり体験	25
2	南下古墳群石室公開デー	県指定史跡 南下 古墳群	令6.11.30	町教委	南下古墳群石室の公開	41
1	しもじろ たち 下仁田町 サマースクール2024	下仁田町歴史館	令6.8.2	下仁田町歴史館	火起こし体験	9
1	なかの じょうまち 中之条町 東谷風穴現地説明会	東谷風穴	令6.8.22	町教委	現地説明会	4
1	ながの はらまち 長野原町 土器ドキウィーク2024	やんば天明泥流 ミュージアム	令6.4.26～ 令6.5.12	町教委(やんば 天明泥流ミュー ジウム)	ホンモノの土器を触ったりスケッチする 体験、縄文コースターづくり等	657
2	キッズデー「七夕かざり おはなしの会」	やんば天明泥流 ミュージアム	令6.6.29	町教委(やんば 天明泥流ミュー ジウム)	七夕飾り作りと絵本の読み聞かせ	28
3	おやこdeやんば～ハッ場の 今と昔を体験しよう～	やんば天明泥流 ミュージアム・ ハッ場ダム	令6.7.28、 令6.8.17	主催：一般社団 法人つなぐカン パニーながのは ら 共催：町教委(や んば天明泥流 ミュージアム)	夏休みに観光で訪れる家族向けにハッ場 ダムとミュージアムの見学をセットにし た企画	34
4	ナイトミュージアム2024	やんば天明泥流 ミュージアム	令6.8.23	町教委(やんば 天明泥流ミュー ジウム)	一日限定の夜間オープン。館内・バック ヤードツアーと16ミリフィルム映写会	21
5	秋季企画展「長野原の中 世と柳沢城」	やんば天明泥流 ミュージアム	令6.9.14～ 令6.11.4	町教委(やんば 天明泥流ミュー ジウム)	「長野原町かるた」ゆかりの武将の紹介 と、未公開だった「柳沢城」の出土品の展 示	1939
6	秋季企画展関連イベント 「秋の城址ツアー」	丸岩城址・柳沢城 址	令6.10.26	町教委(やんば 天明泥流ミュー ジウム)	企画展にちなみ、丸岩城と柳沢城址を学 芸員の案内解説付きで歩くツアー	18
7	長野原町文化祭ワーク ショップ	町住民総合セン ター	令6.11.3	町教委(やんば 天明泥流ミュー ジウム)	「勾玉づくり」「縄文コースターづくり」 ワークショップ	44
8	キッズデー「キジグルマ をつくろう！」	やんば天明泥流 ミュージアム	令7.1.11	町教委(やんば 天明泥流ミュー ジウム)	小正月行事ツクリモノのひとつである木 製のキジグルマをつくるワークショップ	13
9	やんばく講座(全5回)	やんば天明泥流 ミュージアム	令7.1.25、 令7.2.8、 令7.2.22、 令7.3.8、 令7.3.22	町教委(やんば 天明泥流ミュー ジウム)	町の歴史・民俗にまつわる当館職員によ る連続講座	99
1	つぎついでら 碓氷村 鎌原遺跡・令和6年度鎌 原地区発掘調査現地説明 会	碓氷村鎌原	令6.10.12、 令6.10.16	村教委	延命寺跡遺跡・天明大笹温泉引湯道跡の 発掘現場と鎌原地内	102
1	ひがしあがつままち 東吾妻町 第7回岩櫃城フォーラム	東吾妻町コンベン ションホール	令6.11.4	東吾妻町・町教 委	城の本質的価値とは？～今こそ考える岩 櫃城跡の持つ価値～	120
1	たまぐらまち 玉村町 埴輪作り教室	玉村町文化セン ター	①令6.7.25 ②令6.7.26	町教委	小学生対象作品制作(7/25・7/26) 作 品展示(8/13～8/18)	41
2	干支埴輪作り教室	玉村町文化セン ター	令6.8.3	町教委	大人対象作品制作 作品展示(8/13～8 /18)	7
3	勾玉作り教室	玉村町文化セン ター	令6.8.6	町教委	小学生対象作品制作	35
4	オトカ塚Ⅱ遺跡現地説明 会	玉村町下茂木地内	令7.1.19	町教委	発掘調査による成果を公開	101
5	歴史講座	玉村町文化セン ター	令7.3.8	町教委	歴史講座「群馬県内からみた玉村町の古 墳」について―町道103号線道路改良事業 に伴う発掘調査の最新情報も―	68

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 年報44

令和7(2025)年7月31日 発行

編集・発行/公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2

電話 0279-52-2511(代表)

URL <http://www.gunmaibun.org/>